

初塵
あへりうき

寛永版

倉文庫 特

イ 16

24

5

10

15

20

25

門 116
號 23
卷

有
一
至
金
子
之
子

金
之
各
以
張
卷
之
子

何
經
成
一

佳
三
言
日
之
子
之
子

奉
奉

昭和二十七年
六月十一日
受入

寛永十一年版



古
人
か
り
き

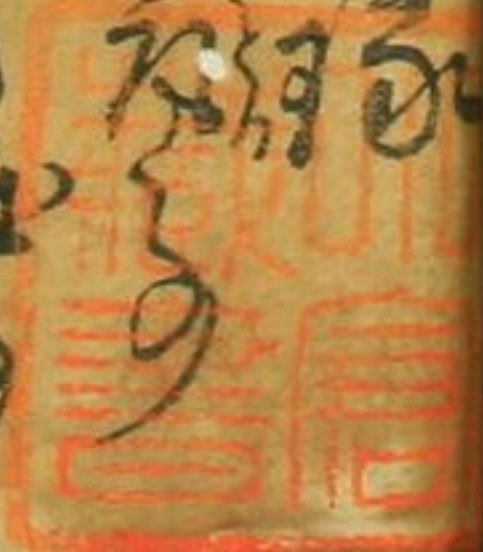
(四卷本)

卷三
卷四

林
之
子
之
子
之
子



ちんろうき巻の三回
 一 花のゆつり紙をてなりの
 二 去るの化物年下刻付
 三 由持るくさるるをとお探る
 四 去る年下をとお探る
 五 橋の八目申
 六 立身のあること候
 七 町はりの事
 八 けみりくわかの橋の事
 九 かりしんりの事



中十 中十の法付しり事の法を
 中九 中九の法付しり事の法を
 中八 中八の法付しり事の法を
 中七 中七の法付しり事の法を
 中六 中六の法付しり事の法を
 中五 中五の法付しり事の法を
 中四 中四の法付しり事の法を
 中三 中三の法付しり事の法を
 中二 中二の法付しり事の法を
 中一 中一の法付しり事の法を

法曰と男小妻有はた小妻又右小男の

保 保 保

法曰と男小妻有はた小妻又右小男の
 中十 中十の法付しり事の法を
 中九 中九の法付しり事の法を
 中八 中八の法付しり事の法を
 中七 中七の法付しり事の法を
 中六 中六の法付しり事の法を
 中五 中五の法付しり事の法を
 中四 中四の法付しり事の法を
 中三 中三の法付しり事の法を
 中二 中二の法付しり事の法を
 中一 中一の法付しり事の法を

第一

大正小治料と申下の事なり候

上又工又百回格人

中 又百人

下 八百半人

合式又百人

右又兼百名候海方時上より

申一七合と申り申しより

下八合と申り申しより

右又百名と申り申しより

小しる事申しに申しより候

上又兼百名候海方時上より

申一七合と申り申しより

下又兼百名候海方時上より

上又兼百名候海方時上より

中又兼百名候海方時上より

下又兼百名候海方時上より

法小寺申の旨の七分をかくれ七石七斗
と申又七石を合する旨の七石七斗
申す人かくれ七石七斗申す人七石七斗
加ふる村申す旨の七石七斗又百石を
て田申す旨の七石七斗又百石を
申す人かくれ七石七斗申す人七石七斗
申す人かくれ七石七斗申す人七石七斗

第

△知り申す旨の七石七斗又百石を
六百石申す旨の七石七斗又百石を

七分申す旨の七石七斗又百石を
何れ申す旨の七石七斗又百石を

西村申す旨の七石七斗
申す旨の七石七斗又百石を

東村申す旨の七石七斗
申す旨の七石七斗又百石を

法小寺申す旨の七石七斗又百石を

此の石と由地六の百卒三石針餘之石
 引給て之石を針餘之石と云ふは八石
 此れ其針の石八石三石を針と云ふは五石
 之石を針と云ふは七石と云ふは八石
 此の針と云ふは七石と云ふは八石
 此の針と云ふは七石と云ふは八石

針

又石の石は上村の石は石中村の石は
 七石下村の石は百三石石は石中村の石は
 三村と云ふは八石針餘之石と云ふは八石
 此の針と云ふは七石と云ふは八石
 此の針と云ふは七石と云ふは八石

上村の石は石

中村の石は石

下村の石は石

針餘之石は石

法之申村より百七拾石の分とわかれ三
 石の計より下村百七拾石を以て分とわかれ又
 石の計より二百合の石を以てこれに石拾石
 小加へて二百拾石の計ありこれを二百合
 申すはこれと持つて三分せり此も申すは
 此と申すは一年村の三分せり此も申すは
 又此の三分せり下村の三分せり此も申すは
 此も申すは此も申すは此も申すは此も申すは

第五

△この内申の法三言又申すはこれ公九八も
 申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは

申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは
 申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは
 申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは
 申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは
 申すは此の申すは此の申すは此の申すは此の申すは



三

四百五十九
四百五十九

四百五十九
四百五十九
四百五十九

四百五十九

三

三

四百五十九

三

第六

三才の長とつこの草

いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり



井の
いふそまゝといふかゝり

いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり
いふそまゝといふかゝり



いふそまゝといふかゝり

第七

田つりの事

△むさひあひのこらてりあふ
まていふい何かとあらそ
とらあめ

三所大島はすせか

三すあちかひあうてあふ
すせかあちかひあうてあふ
いふいふていふいふ
のたけいふいふいふ



Handwritten notes or signatures below the drawing on the right page.

かりあみゆりあめ
いとかくれあふ方なりとなら
これあてあふいふあふ
百いふいふいふいふ
とらあふあふあふいふ
あふあふあふあふあふ
てあふあふあふあふ
一すあかあふあふ



△月所 りじいおまの地とる時

可 於又所 本三寸五分

示 於七所 半三寸五分

示 於所 本三寸七分

示 於三所 半三寸五分

示 於七所 半三寸五分

示 九所 半三寸五分

示 七所 半三寸五分

示 六所 半三寸五分

一分 五所 本三寸五分

一分 五所 本三寸五分

一分 四所 本三寸五分

一分 四所 本三寸五分

一分 三所 半三寸五分

一分 三所 半三寸五分

一分 三所 半三寸五分

一分 三所 半三寸五分

一分 外所 半三寸五分

二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分
二分 を 小冊半 を 五分

三分

三冊半 を 五分

又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分
又 を 小冊半 を 五分

11111

七

第八

此の如くはやがの後の事

△此つこの坪敷の如き

そと云付

百三拾六坪と云

先下のまゝあるまゝの如

きとてあるまゝの如き

子にわらわるまゝの如き

おちかたの坪敷の如き

七らりとあつた百三拾六坪

と云ふ

△此の如くはやがの坪敷の如

あつたといふ

坪敷の如きと云

先づまゝの如きと云

此の如くはやがの坪敷の如

きとてあるまゝの如き

此の如くはやがの坪敷の如

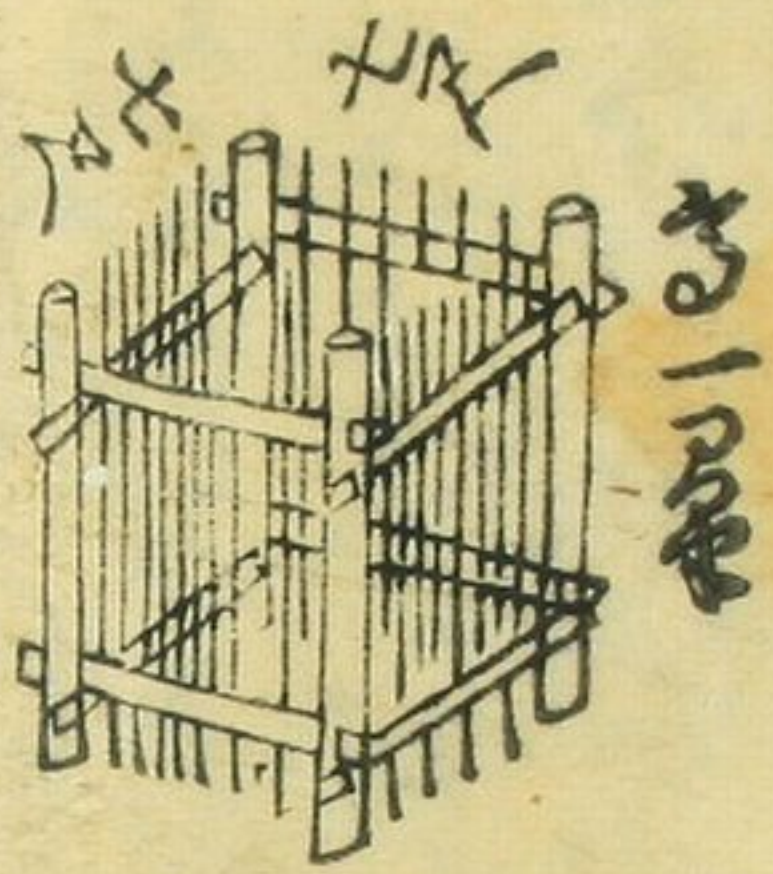
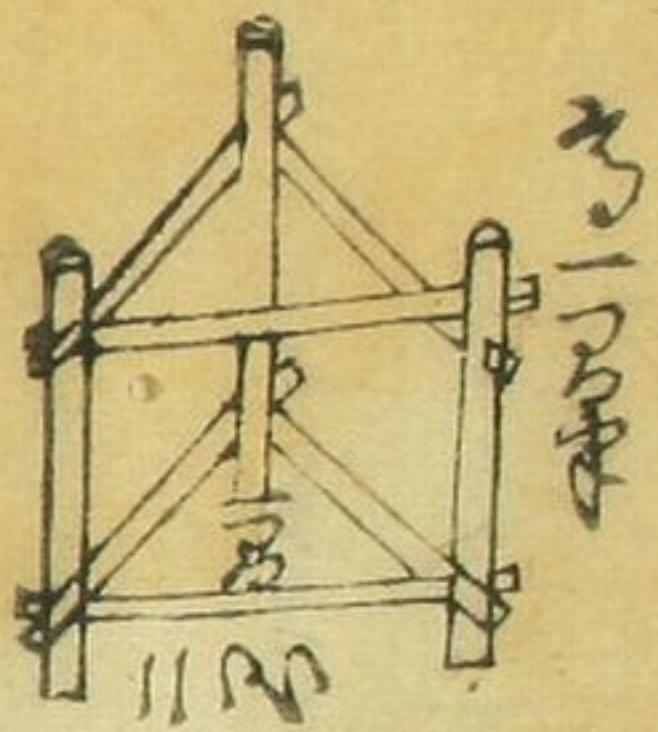
きとてあるまゝの如き

此の如くはやがの坪敷の如

きとてある

坪敷





△は角すくはし
△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

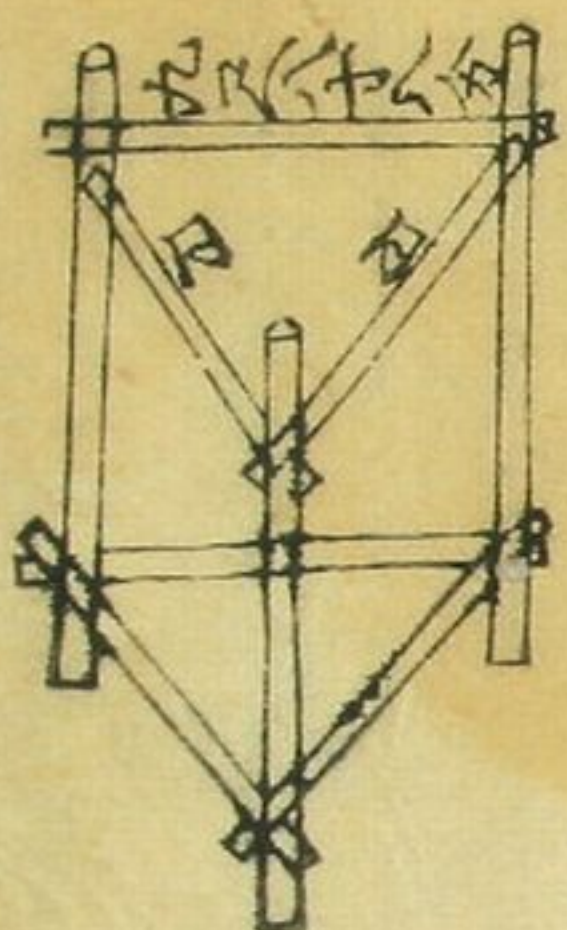
△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

△は角すくはし

さし一尺



△は角すくはし

是のく守分とんんふよきか
 九七六二四とぬいふ三圃の
 かくれ二二七下二二五二とぬ
 二六とかくれ二二四下二二六とぬ
 二れよひの坪の法二二五を
 一坪とぬたしり

△平坪の二二五とさうし色代り

一二二五五

二二二二一

三七下二二五

二九一九七五

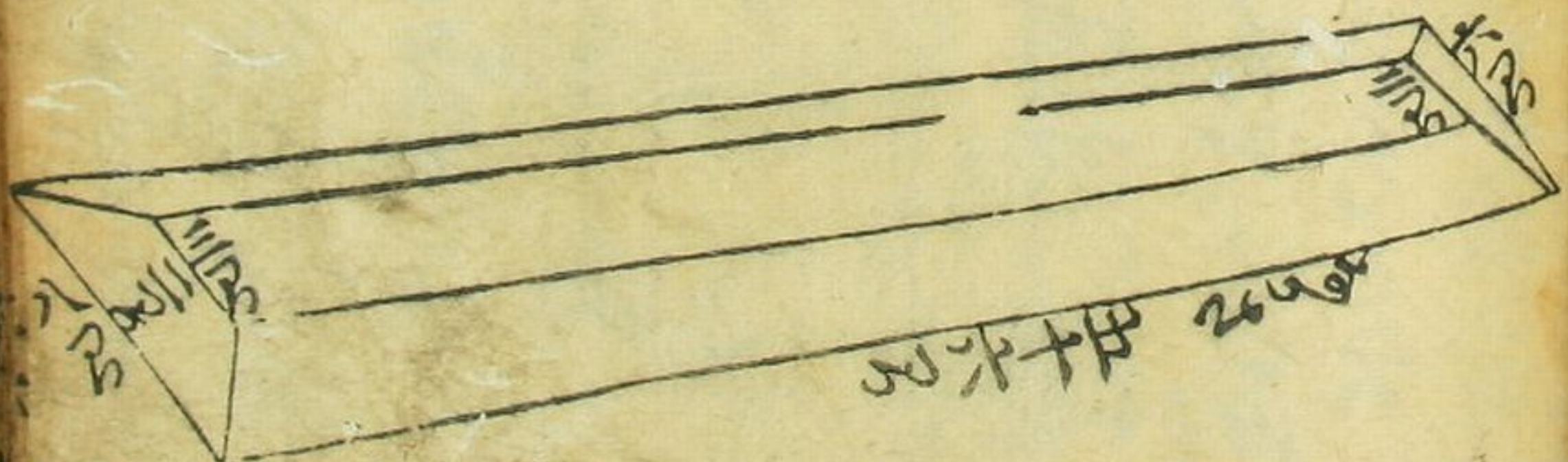
二二二五五の二十

△しつゝこの坪ぬきあや

しつゝこの坪ぬきあや

又百三拾外坪

是上の二二五とぬいふよ
 又るよぬいふ下の二二五
 とぬいふよぬいふ二二五
 二とぬいふよぬいふ二二五
 九坪とぬいふよぬいふ二二五
 二とぬいふよぬいふ二二五



記甲集名

第九

甲のりしんじりの事

△甲のりしんじりなる事
る事しんじり行りたる事しんじり

三十二ふらるとかかれ九千五百と云
三百半の事かかれ三万六千六百と云

△たし甲のりしんじりなる事
ふらるとかかれ九千五百と云

百九十九と云ふ事
三十三半の事かかれ九千五百と云

△甲のりしんじりなる事
たし甲のりしんじりなる事

二七〇七〇七九千六百と云
たし甲のりしんじりなる事

かかれ九千五百と云
たし甲のりしんじりなる事

たし甲のりしんじりなる事
かかれ九千五百と云

たし甲のりしんじりなる事
かかれ九千五百と云

御氣

御氣

△カウの御氣... ありは降ゆりしありそと云時

カウの御氣... 又た二二三... 軍一降

△カウの御氣... ありとありそと云時

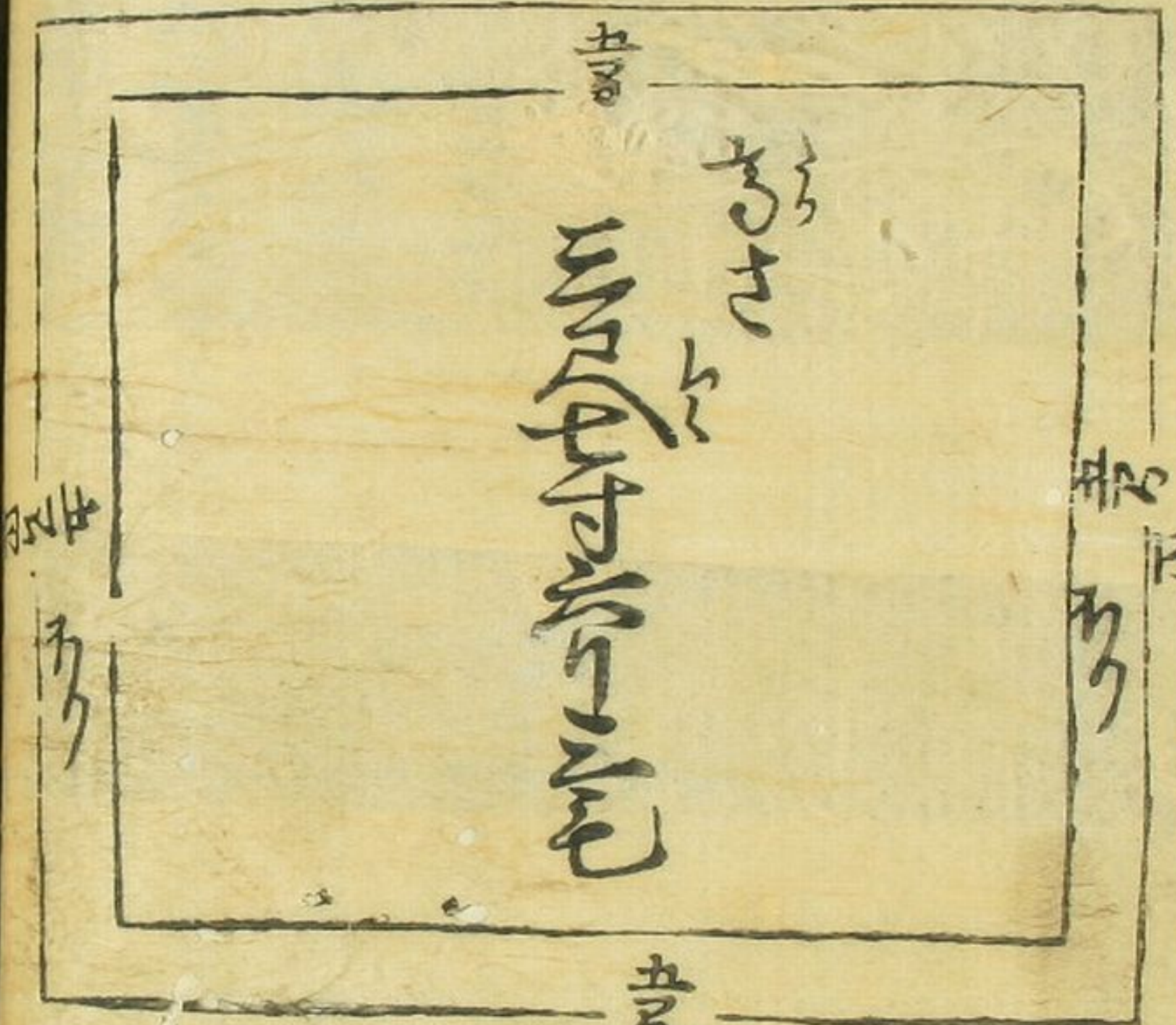
カウの御氣... 二五

△同大なるあみ平き降^り天^りのあま^りと
 きりりうめり射^りあつり^り長^り百^り
 ひろなるいふ^りなる^りい^りい^り
 射^りたさ^りあ^りし^りい^り何^り箱^りう^りあ^りる^り
 九^り百^りの^り数^りなる^り今^りは^りあ^りる^り
 せ^りさ^りる^りよ^りさ^りる^りあ^りる^りか^りれ^りた^りあ^りる^り
 又^り平^りき^り降^りき^り分^り下^りり^りあ^りる^り射^りあ^りる^り
 是^りの^り三^りの^りい^りあ^りる^りい^りあ^りる^りあ^りる^り
 なる^り

△同あみ平き降き分下のあまりあ

ありあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 む^りと^りた^りさ^りく^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 射^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 是^りの^り三^りの^りい^りあ^りる^りい^りあ^りる^り
 長^りの^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 又^りの^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 射^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 △は^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 ま^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り
 ありては^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^りあ^りる^り

けりとのちあて御書あまのりたる
 ろろりてしるあめ



目世

目世
 目世
 目世

之百の抄るさうのひらふ又さうに百の抄る
 みこれおきかたの言さるあまのりたる
 かれらるるあまのりたるあまのりたる
 九百の抄るこれさうのひらふ又さうに
 百の抄るさうのひらふ又さうに百の抄る
 百の抄るさうのひらふ又さうに百の抄る
 二方の百の抄るこれさうのひらふ又さうに
 九百の抄るこれさうのひらふ又さうに
 百の抄るさうのひらふ又さうに百の抄る
 百の抄るさうのひらふ又さうに百の抄る

十
 九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

第十

ますの法付むり
 ますの法もろ
 ますの法もろ
 ますの法もろ

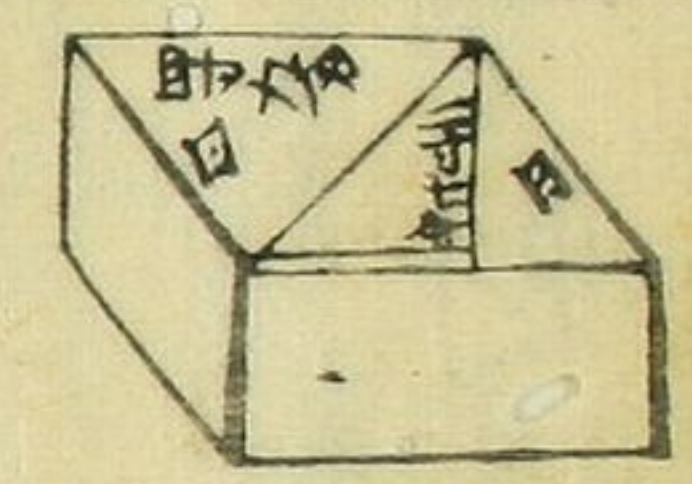
| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 九合 | 八合 | 七合 | 六合 | 五合 | 四合 | 三合 | 二合 | 一合 |
| <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> | <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> | <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> | <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> | <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> | <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> | <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> | <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> | <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> |
| <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> | <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> | <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> | <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> | <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> | <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> | <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> | <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> | <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> |
| <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> <small>九合</small> | <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> <small>八合</small> | <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> <small>七合</small> | <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> <small>六合</small> | <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> <small>五合</small> | <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> <small>四合</small> | <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> <small>三合</small> | <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> <small>二合</small> | <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> <small>一合</small> |

鹿三

九

| | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 |
| 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 |
| 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 | 今 五寸七分五厘 |
| 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 | 古 五寸七分九厘 |

| | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 |
| 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 |
| 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 | 今 六寸九分 |
| 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 | 古 六寸九分 |



| | | | | | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 一石 | 二石 | 三石 | 四石 | 五石 | 六石 | 七石 | 八石 | 九石 |
| 今 五八寸五分 古 三八寸五分 | 今 四三寸五分 古 三三寸五分 | 今 三三寸五分 古 二三寸五分 | 今 二二寸五分 古 一二寸五分 | 今 一一寸五分 古 一一寸五分 | 今 一一寸五分 古 一一寸五分 | 今 一一寸五分 古 一一寸五分 | 今 一一寸五分 古 一一寸五分 | 今 一一寸五分 古 一一寸五分 |

此天のり一斗より一斗五分まで八斗に用立法也此
 地は水計より十石より一斗五分まで八斗に用立法也此

△ びりまの法

| | | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 一斗 | 二斗 | 三斗 | 四斗 | 五斗 | 六斗 | 七斗 | 八斗 | 九斗 |
| 今 一斗五分 古 一斗五分 | 今 二斗五分 古 二斗五分 | 今 三斗五分 古 三斗五分 | 今 四斗五分 古 四斗五分 | 今 五斗五分 古 五斗五分 | 今 六斗五分 古 六斗五分 | 今 七斗五分 古 七斗五分 | 今 八斗五分 古 八斗五分 | 今 九斗五分 古 九斗五分 |

一合

ひきき 二寸五分あり
ひきき 一寸五分あり

二合

ひきき 三寸五分あり
ひきき 一寸五分あり

二合

ひきき 二寸九分あり
ひきき 一寸七分あり

一合

ひきき 三寸五分あり
ひきき 一寸五分あり

一斗

ひきき 三斗五分あり
ひきき 一斗五分あり
ひきき 二斗五分あり

六斗いふは又百坪の附らへるるは又山百坪を
これとて合して二斗いふは百坪とて用立て
され一合半のひらき守三斗五分ありとて又
志ら附へ守三斗五分ありとて又一斗五分ありとて

一斗

一斗の附らへるるは又山百坪を

今斗の法

一斗五分ありを二斗五分ありとて又

守九分と

守九分とた右をいふは二斗五分ありとて

五斗

五斗五分ありとて又

五斗

五斗五分ありとて又

ひきき

ひきき 六斗五分ありとて又

ひきき

ひきき 七斗五分ありとて又

ひきき

ひきき 八斗五分ありとて又

ひきき

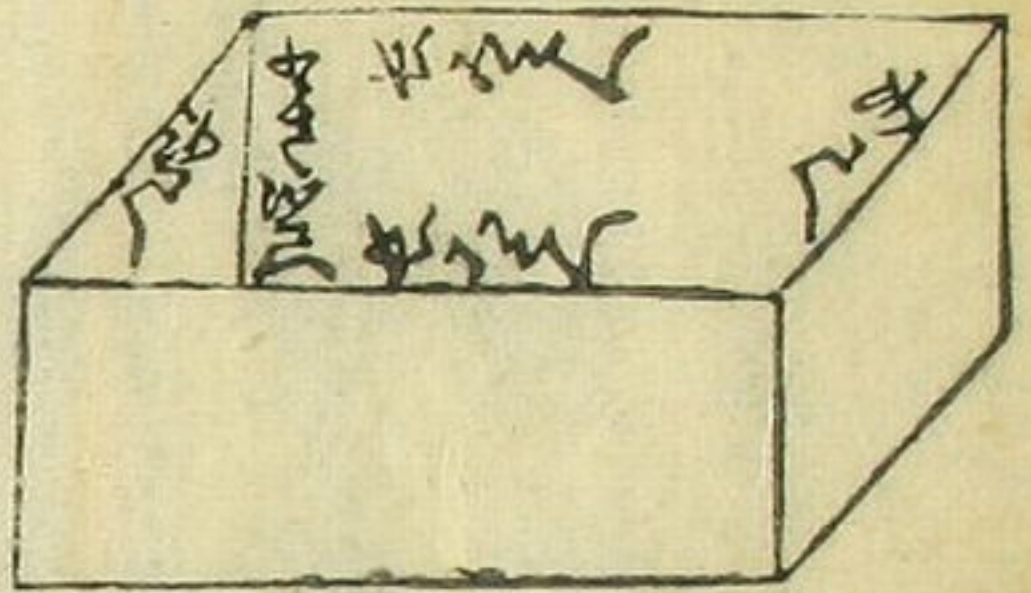
ひきき 九斗五分ありとて又

ひきき

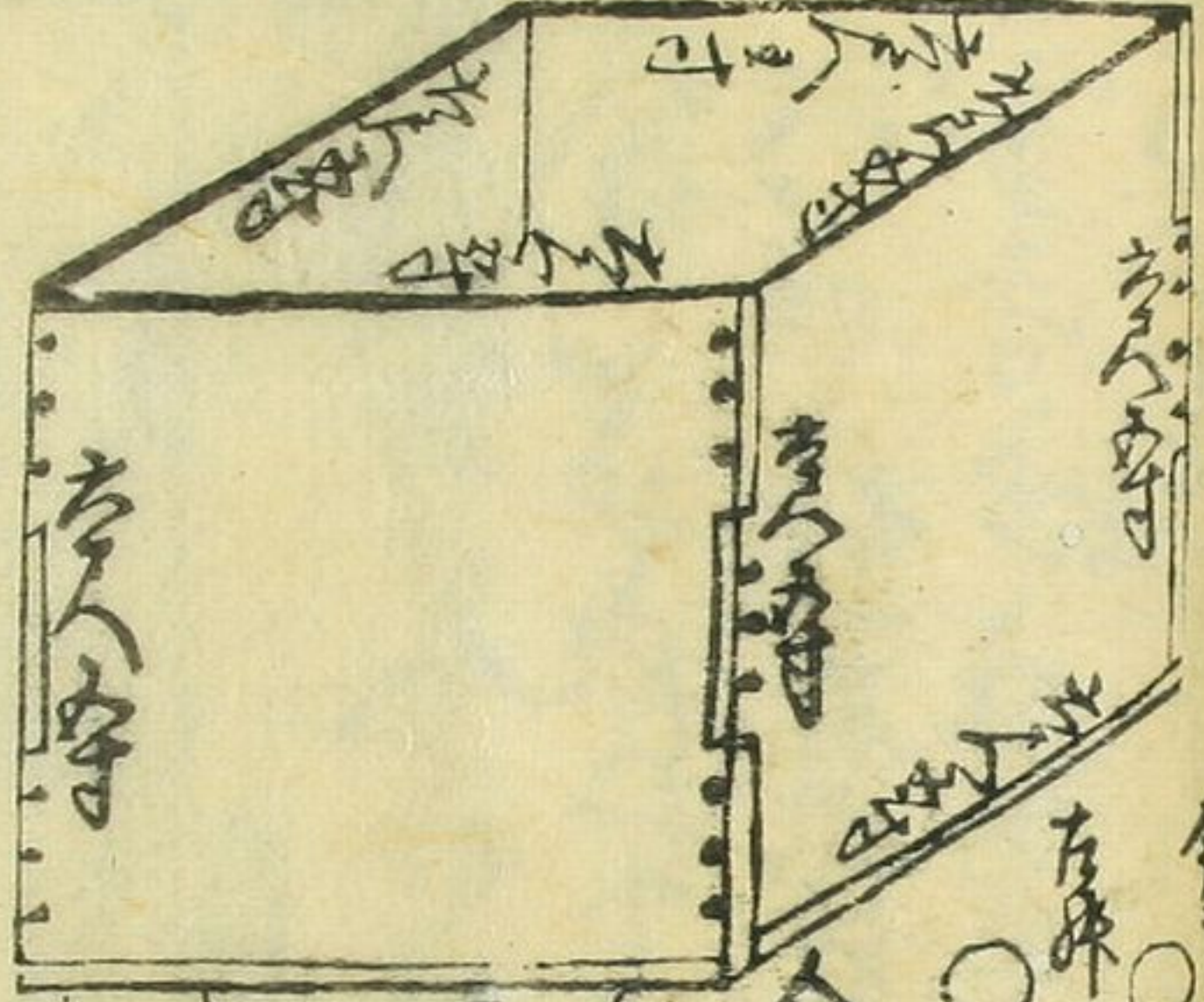
ひきき 十斗五分ありとて又

ひきき

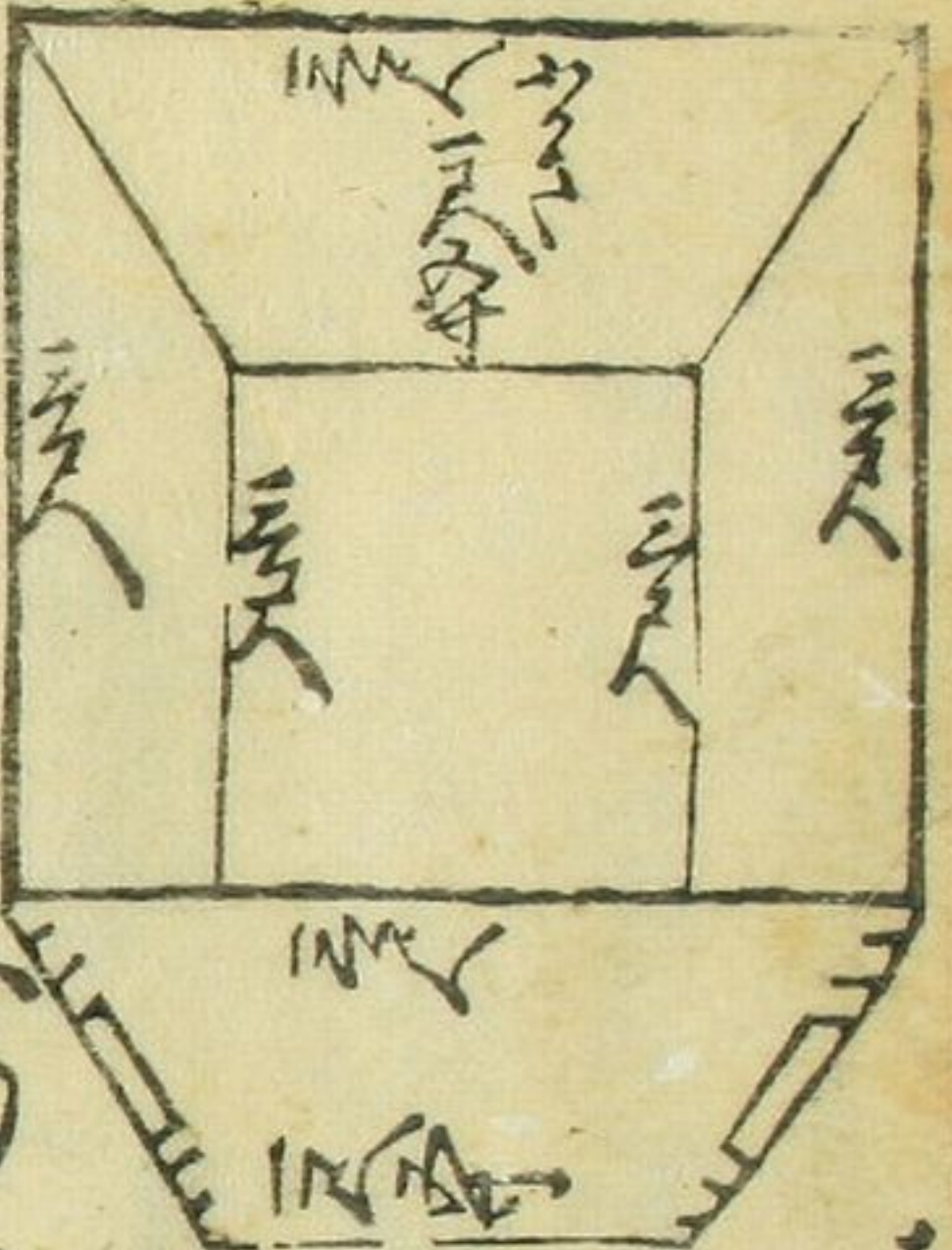
ひきき 十一斗五分ありとて又



今半寸
 〇二三八種
 〇二三八種
 志長
 増
 増
 八
 又七
 又
 又
 又



今半寸
 〇二三八種
 〇二三八種
 志長
 増
 増
 八
 又七
 又
 又
 又



〇石六寸の鉢入
 〇石四寸の鉢入
 〇石二寸の鉢入
 〇石一寸の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入

〇石六寸の鉢入
 〇石四寸の鉢入
 〇石二寸の鉢入
 〇石一寸の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入



六角 〇石六寸

〇石六寸の鉢入
 〇石四寸の鉢入
 〇石二寸の鉢入
 〇石一寸の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入



九角

〇石六寸の鉢入
 〇石四寸の鉢入
 〇石二寸の鉢入
 〇石一寸の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入

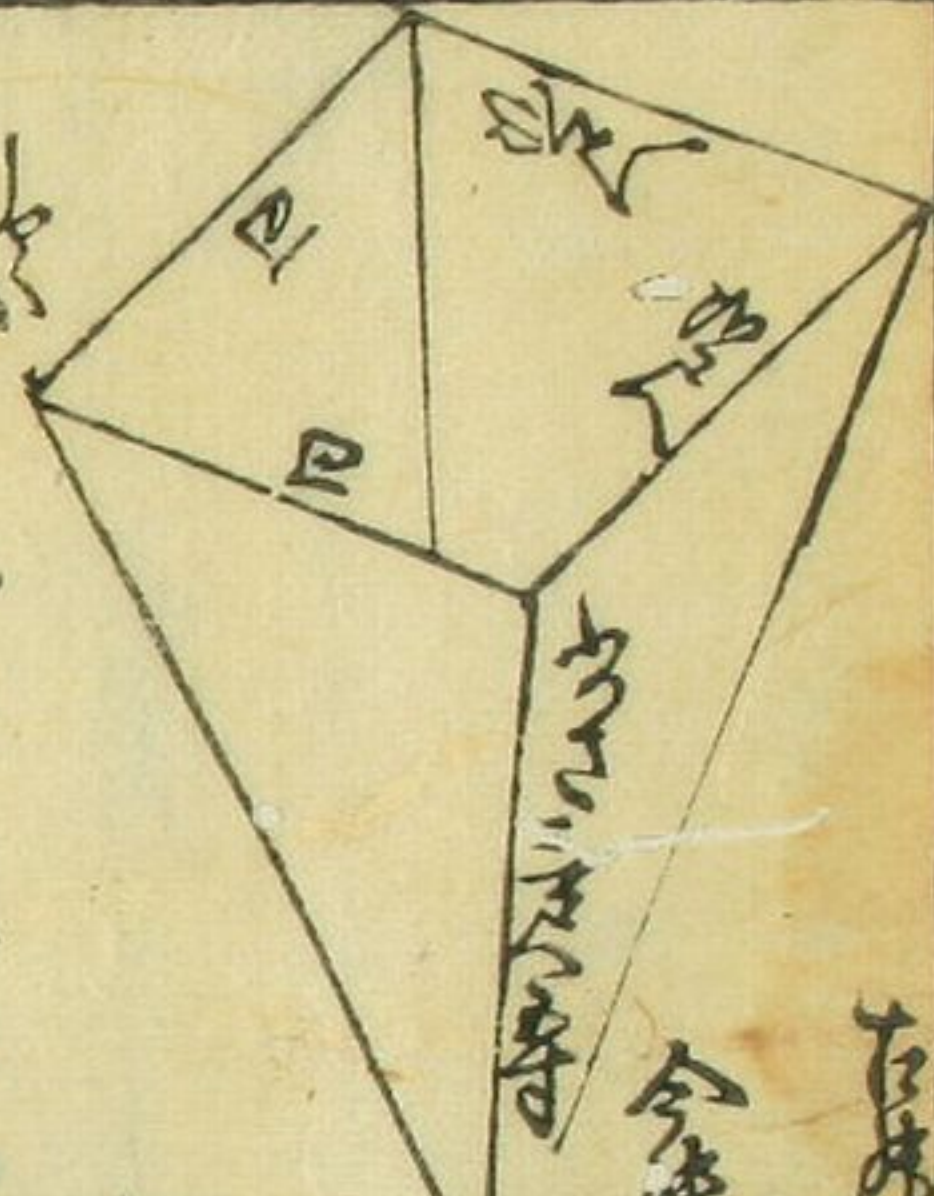
〇石六寸の鉢入
 〇石四寸の鉢入
 〇石二寸の鉢入
 〇石一寸の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入
 〇石五分の鉢入
 〇石三分の鉢入
 〇石二分の鉢入
 〇石一分の鉢入

算術

第十一

ひわく算の法

| | | | |
|------------------|------------------|------------------|--|
| 七合 | 八合 | 三合 |  二合 |
| 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 |
| 八合 | 六合 | 四合 | 二合 |
| 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 | 二寸二分六厘 二寸二分六厘 |



 七斗に辨六合を分入
 七斗を辨九合を分入
 辨を分たふと考て
 加れんば八合ある也
 三斗を分れば一斗と九合ある法の
 十斗を分れば三斗と七斗ある法の
 七斗を辨六合を分入と考入る也
 今辨を分つらむ法の法は八斗と九斗
 と考て二斗と七斗と考て一斗と八斗と考て九斗
 と考て二斗と七斗と考て九斗と考入る也

九合

守分り
守分り

一合

守分り
守分り

八合

守分り
守分り

二合

守分り
守分り

七合

守分り
守分り

三合

守分り
守分り

六合

守分り
守分り

四合

守分り
守分り

五合

守分り
守分り

五合

守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

ひらり



守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

守分り
守分り

守

守分り
守分り

算術

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十の寸法

七束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

九束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

四束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

一束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十の寸法

二束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

三束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

五束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

七束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

九束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

八束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

六束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

四束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

二束
 口一尺八分二厘一毫
 寸一尺二分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫
 寸一尺一分一厘一毫

心經

| | | | |
|---|---|---|---|
| 二石 | 九斗 | 七斗 | 又斗 |
| 口 二石五分九釐 少 二石三分九釐 少 二石一分九釐 | 口 一石三分九釐 少 一石一分九釐 少 一石九釐 | 口 一石一分九釐 少 一石九釐 少 一石七分九釐 | 口 一石九釐 少 一石七分九釐 少 一石五分九釐 |
| 三石 | 一石 | 斗 | 斗 |
| 口 三石一分九釐 少 三石九釐 少 三石七分九釐 | 口 一石九釐 少 一石七分九釐 少 一石五分九釐 | 口 一石九釐 少 一石七分九釐 少 一石五分九釐 | 口 一石九釐 少 一石七分九釐 少 一石五分九釐 |

算

| | | | |
|---|---|---|---|
| 斗 | 斗 | 斗 | 斗 |
| 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 |
| 斗 | 斗 | 斗 | 斗 |
| 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 | 口 一斗九釐 少 一斗七分九釐 少 一斗五分九釐 |

おとけのくちか換

| | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 寸石 | 寸石 | 寸石 | 寸石 |
| 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 |
| 寸石 | 寸石 | 寸石 | 寸石 |
| 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 |

| | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 寸石 | 寸石 | 寸石 | 寸石 |
| 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 |
| 寸石 | 寸石 | 寸石 | 寸石 |
| 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 | 寸石 寸石 寸石 寸石 |

〇たのむはくからむのこころに
 一いつくしうかへてしるす
 又少くかへて又因縁をたづねて
 海の時海行入る事一れはるる
 はんはるるをいふはくあり
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす

第廿六

はくちゅうのこころ



三三三

〇たのむはくからむのこころに
 一いつくしうかへてしるす
 又少くかへて又因縁をたづねて
 海の時海行入る事一れはるる
 はんはるるをいふはくあり
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす



三三三

〇たのむはくからむのこころに
 一いつくしうかへてしるす
 又少くかへて又因縁をたづねて
 海の時海行入る事一れはるる
 はんはるるをいふはくあり
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす
 〇又少くかへてしるす



東て
 ○六斗台合人
 まま
 七か
 八か
 九か
 十か
 十一か
 十二か
 十三か
 十四か
 十五か
 十六か
 十七か
 十八か
 十九か
 二十か

~~東
 六斗台合人~~

第十一

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十
 時
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

塵

△夫つとちらなるまはくしとてし
おこのりちむすちけんあひるこの
とつあおよ

はくまへんまふまふまふこのつ

のつそんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

はくまへんかつりつせんりつあつてん

第廿八

三十一としてる海はしら

と月おたけらしくさちとて

長三つよのなつてんとして

おれちんとけあし

塵

塵



批

山

才一
才二
才三
才四
才五
才六
才七
才八
才九

りんくき巻のに自録

百方諸の人数りて

一億の女の子とて

開平法園あり

開平法園あり

開立法園あり

孫子とて

ひあく一倍の事

日本國中男女の数の

かゝるとさんあり



塵四

才十 金銀を扱ふに用きし
才十 ちぬてんのかん
才十 わつらんらんらん
才十三 百文を扱ふに用きし
才十 ちくしんかんかん

辨一

百文の扱ふに用きし
ちくしんかんかん
らんらん

長

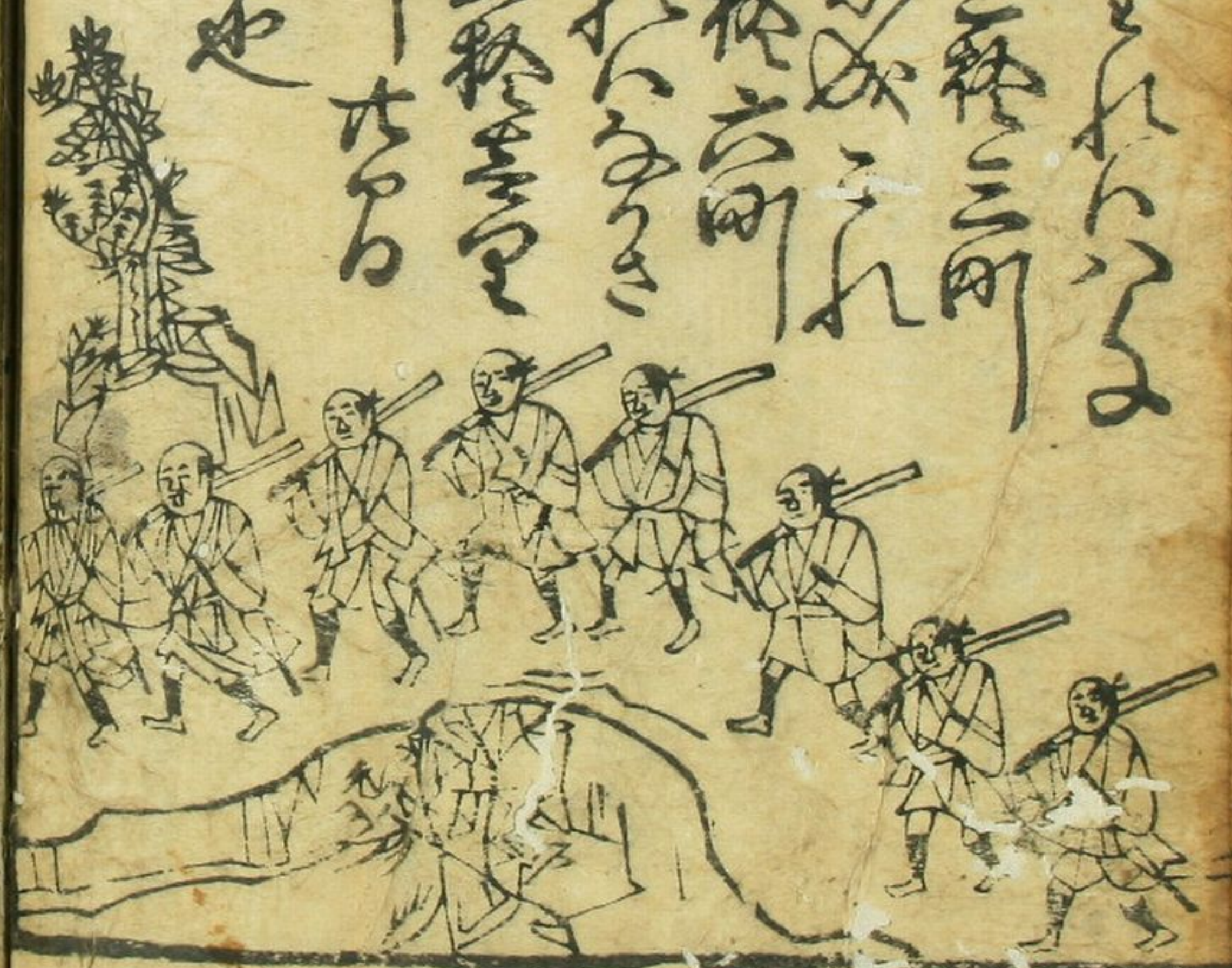
小百文を扱ふに用きし

ちくしんかんかん
らんらん
らんらん
らんらん
らんらん



塵四

塵四
 少ていれんは
 三百三終三所
 なる少ぬれ
 と三終三所
 ていれんは
 昔三終三所
 本所 なる
 ある也





百男の杖を
 小舟にて
 つくると云
 百男の杖を
 小舟にて
 つくると云
 百男の杖を
 小舟にて
 つくると云
 百男の杖を
 小舟にて
 つくると云

△百方人唐と一俸唐ふくむつて暮らうら
みしてゆかして百方あるそとらふ時

可也格る百方あり

百方今と言人ゆてまれば二格ふ方俸
をこれと用事法とゆてまれば百
万金方ふこれと又平るゆて
まれば前たる百方とまらる也

△百方と一俸ふ十二人つて暮らうら
みしてゆかして百方あるそとらふ時

可也格る百方あり

可也格る百方あり

可也格る百方あり

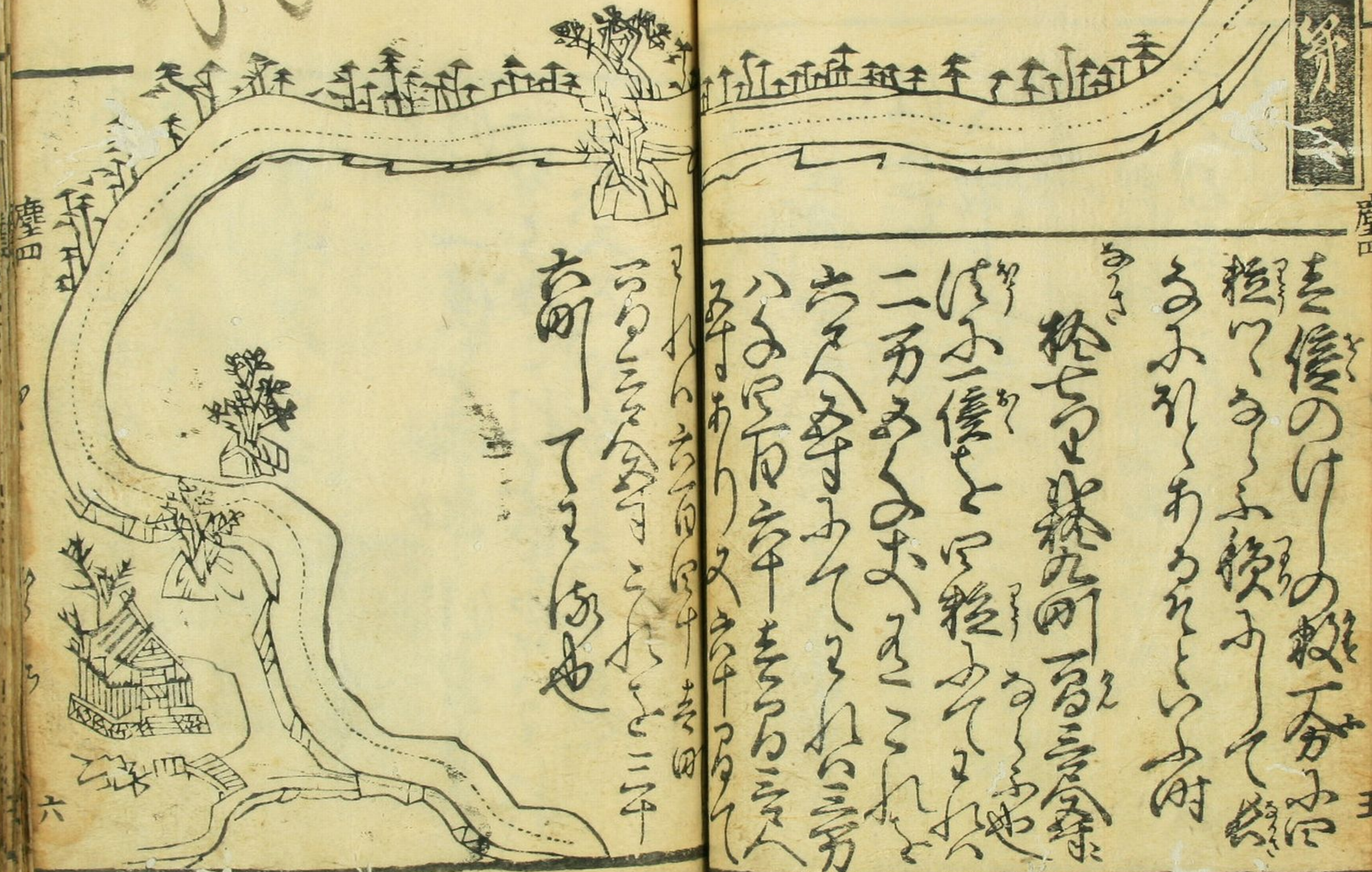
△又一俸ふ三人つて暮らうら
みしてゆかして百方あるそとらふ時

可也格る百方あり

△百人教ふふ五人持持ありて日ふ
ゆかして百方あるそとらふ時

可也格る百方あり

河



舟

去後のけの敷下分お
 粒々々々粒々々々
 るふれ々々々々々々々々

松七と林九河原三言
 ば小一億と定粒少くは
 二万ふくふくふくふく
 六千人守少くは三万
 八千の百六千七千八千
 九千あり又六千七千

高
 二
 三

塵四

塵四

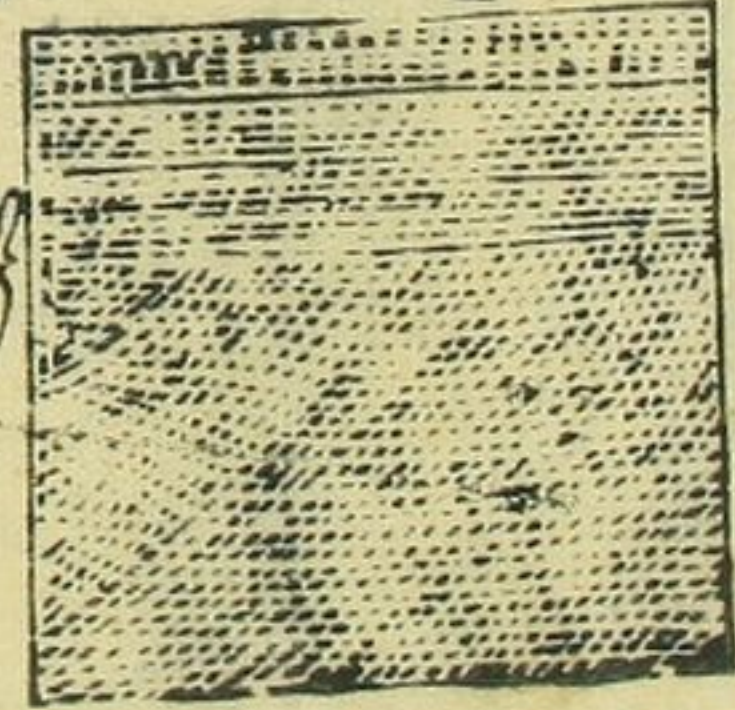
六

五

廿

△
 一字一億と平地の方
 字の~ぬる時ふたつありて
 一ありし時

一字一億



一字一億と開平法より
 一千万と成るなり
 二千万と成るなり

百

開平法と開平法と

百

九

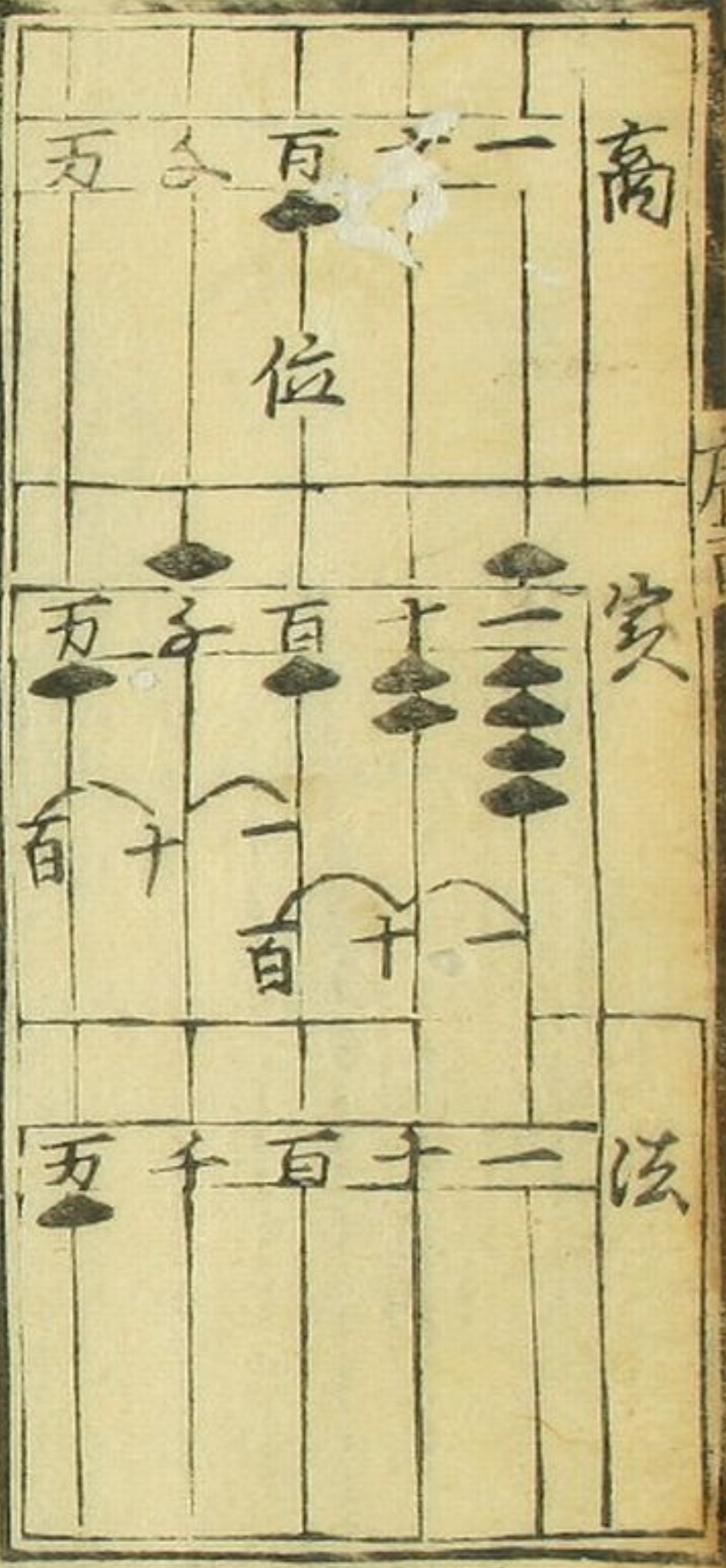
一百万
 一千万
 一億
 一兆
 一十兆
 一十萬
 一十億

| | | |
|-----|----|-----|
| 一兆 | 一億 | 一十億 |
| 一十萬 | | |
| 一千万 | | |
| 一百万 | | |

二の字

九の字

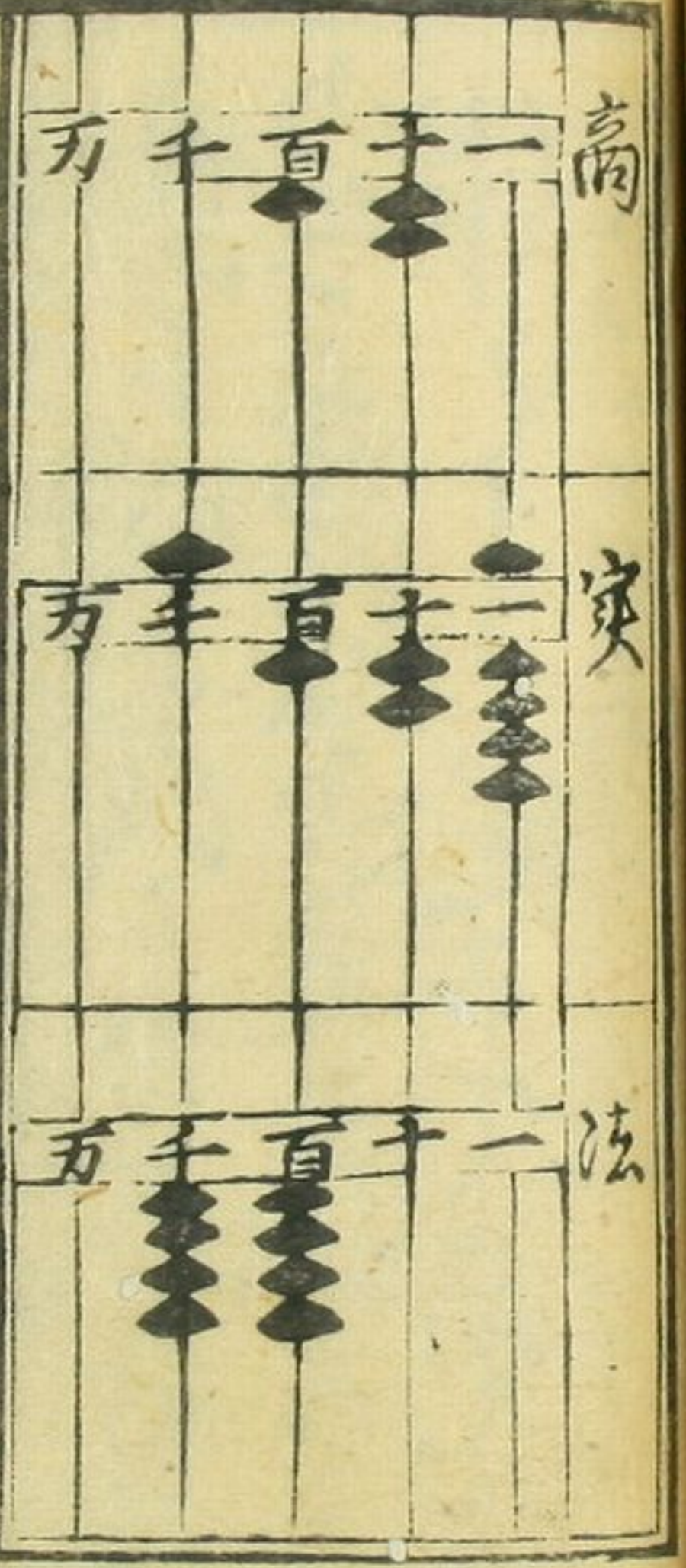
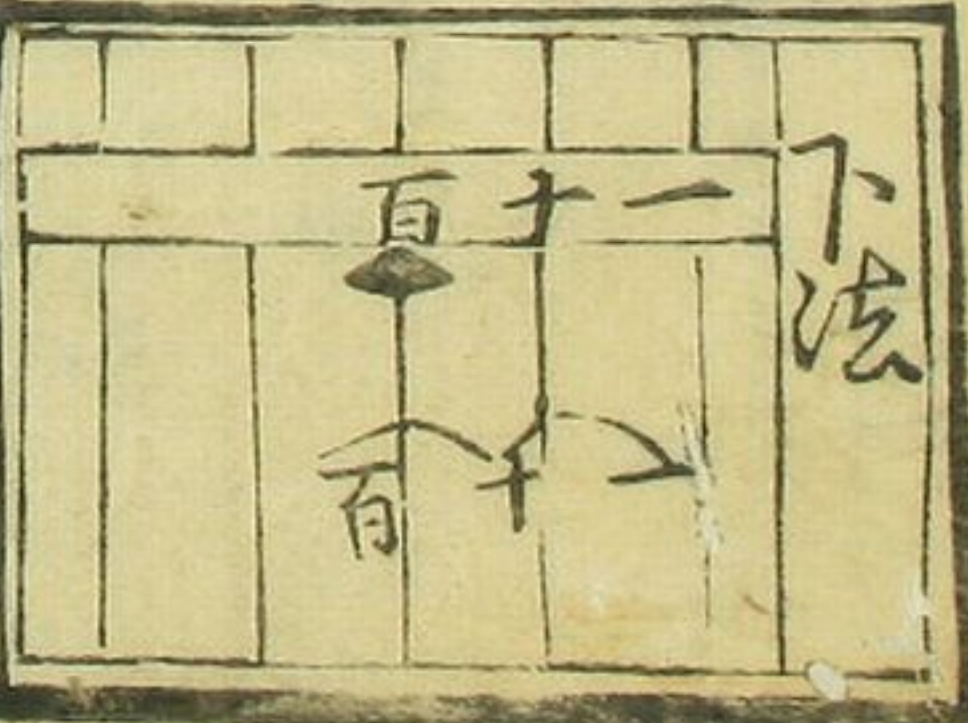
百



實小万及百位并と進む位より

一千百十位と進む位よりしてあらはし百と二をあらは
は百の位と進む位よりと進む位よりして百より

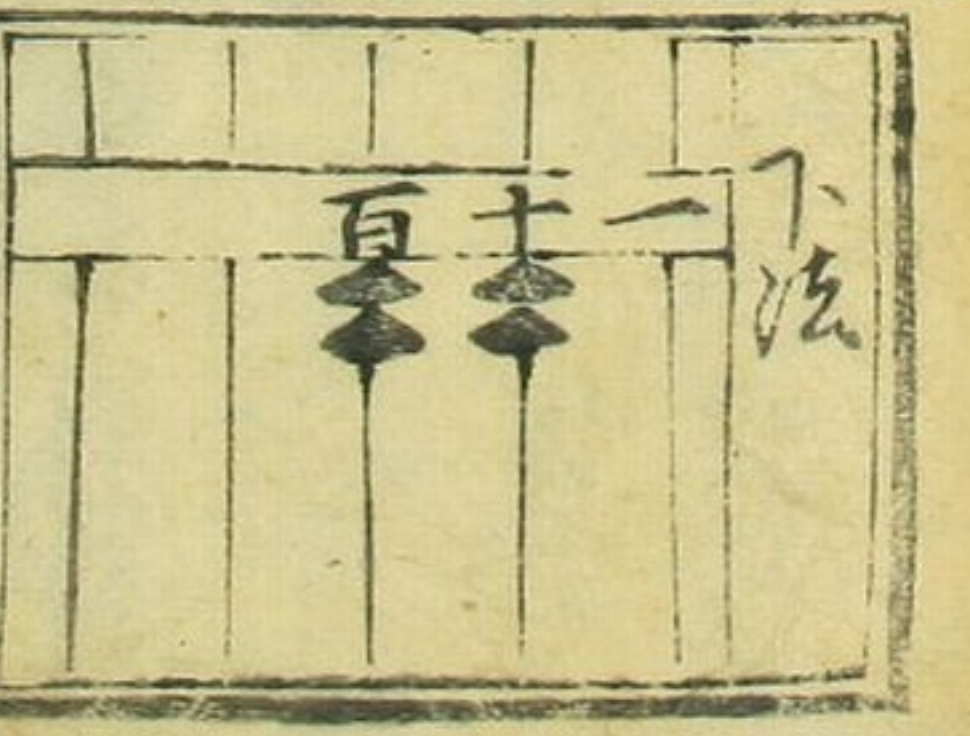
又一千百とわたりて百と進む位よりして法の百
高の百よりと進む位よりと進む位よりして除く実
残りしてぬる百位よりと進む位より



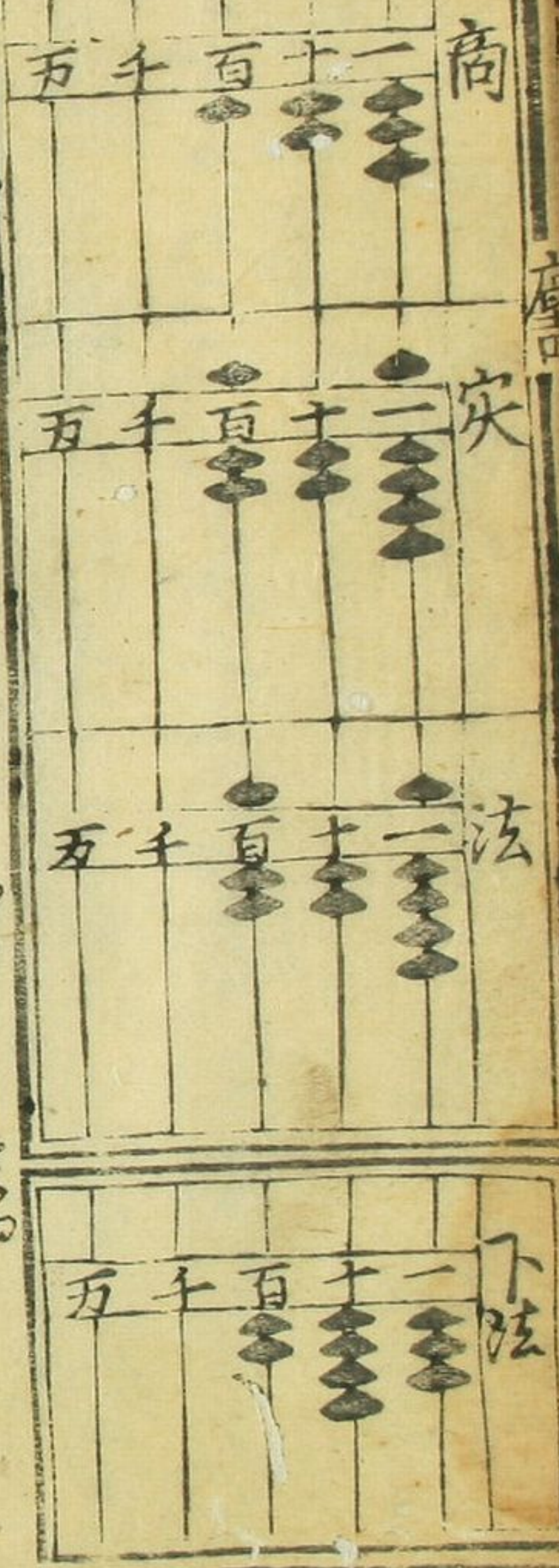
高の百の次よりと進む位より

一位よりと進む位よりと進む位よりして百よりと進む位より
又九と進む位よりと進む位よりと進む位よりして百よりと進む位より
と進む位よりと進む位よりと進む位よりして百よりと進む位より

実小残りて七百九十九



二二二



高小の次小三と垂下法と一億をけてたを
 一億めて軍と垂下法と三と垂下法と法
 高の三を法と三の百三の百三三
 の九と垂下法と百九の九と実と
 一と垂下法と高と九の九と

△用半法 積七系六兆八億二万又子

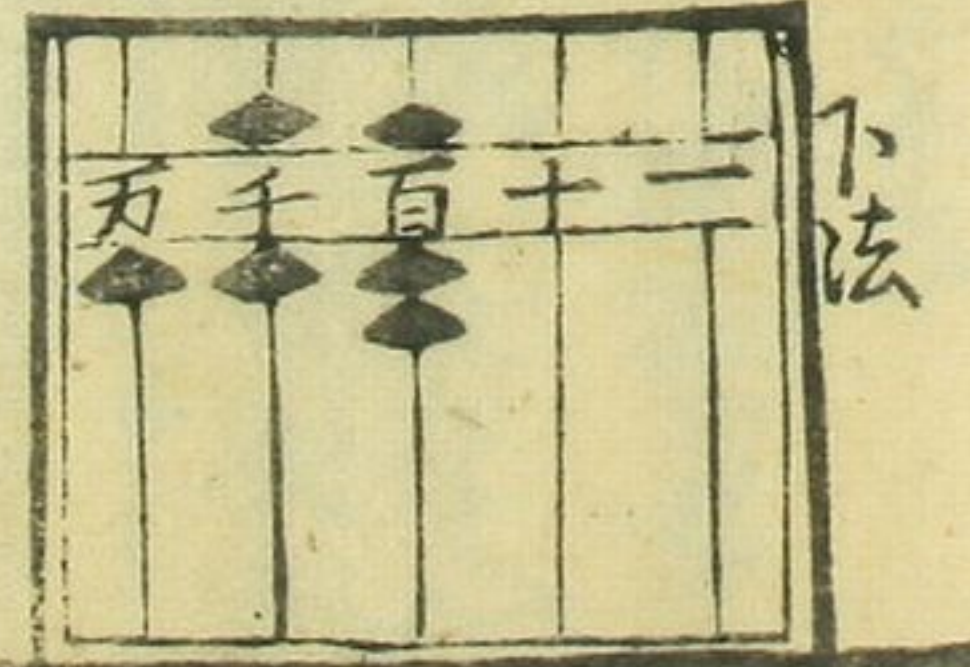
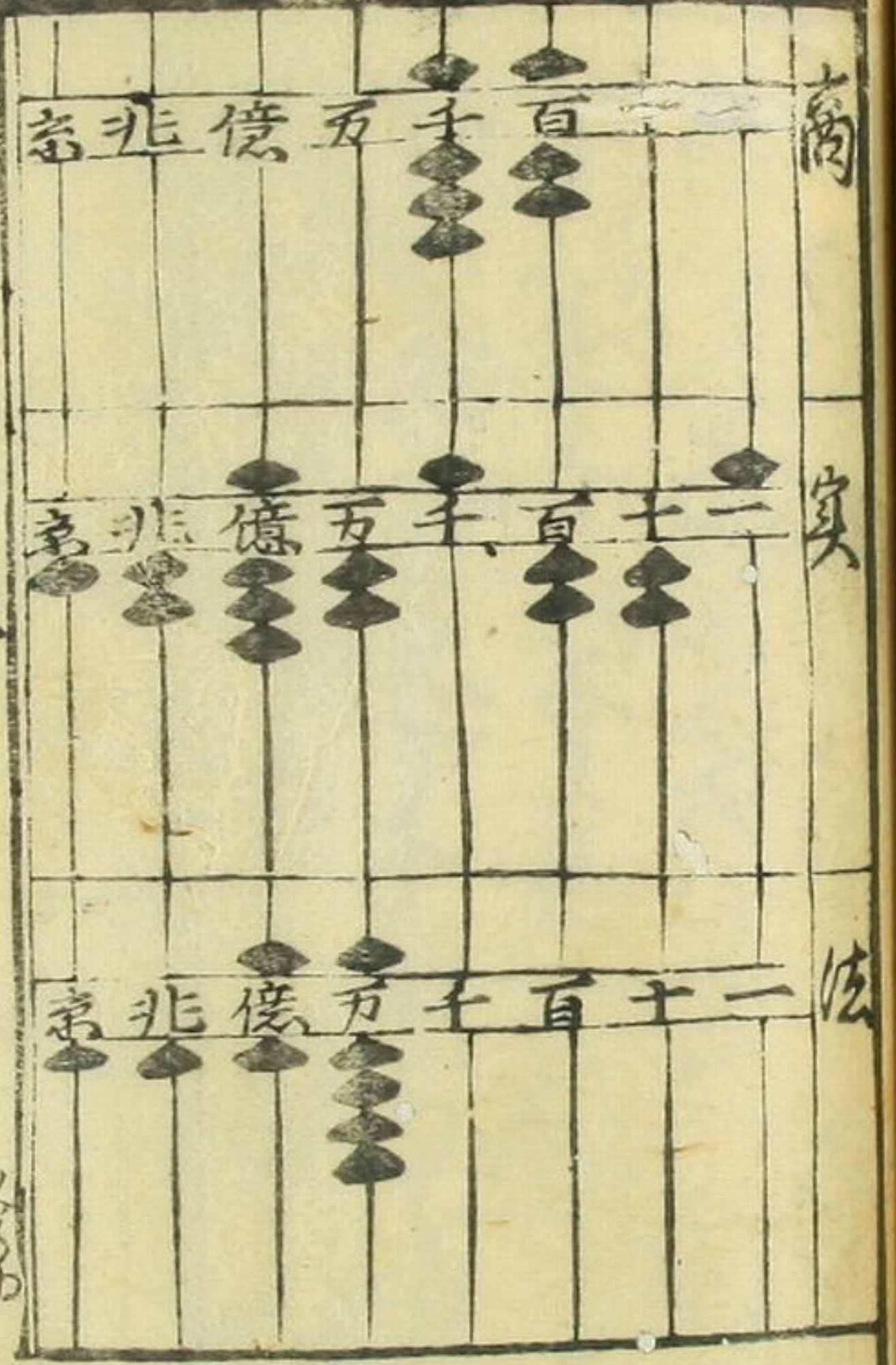
八子 七有卒宮

右に後算

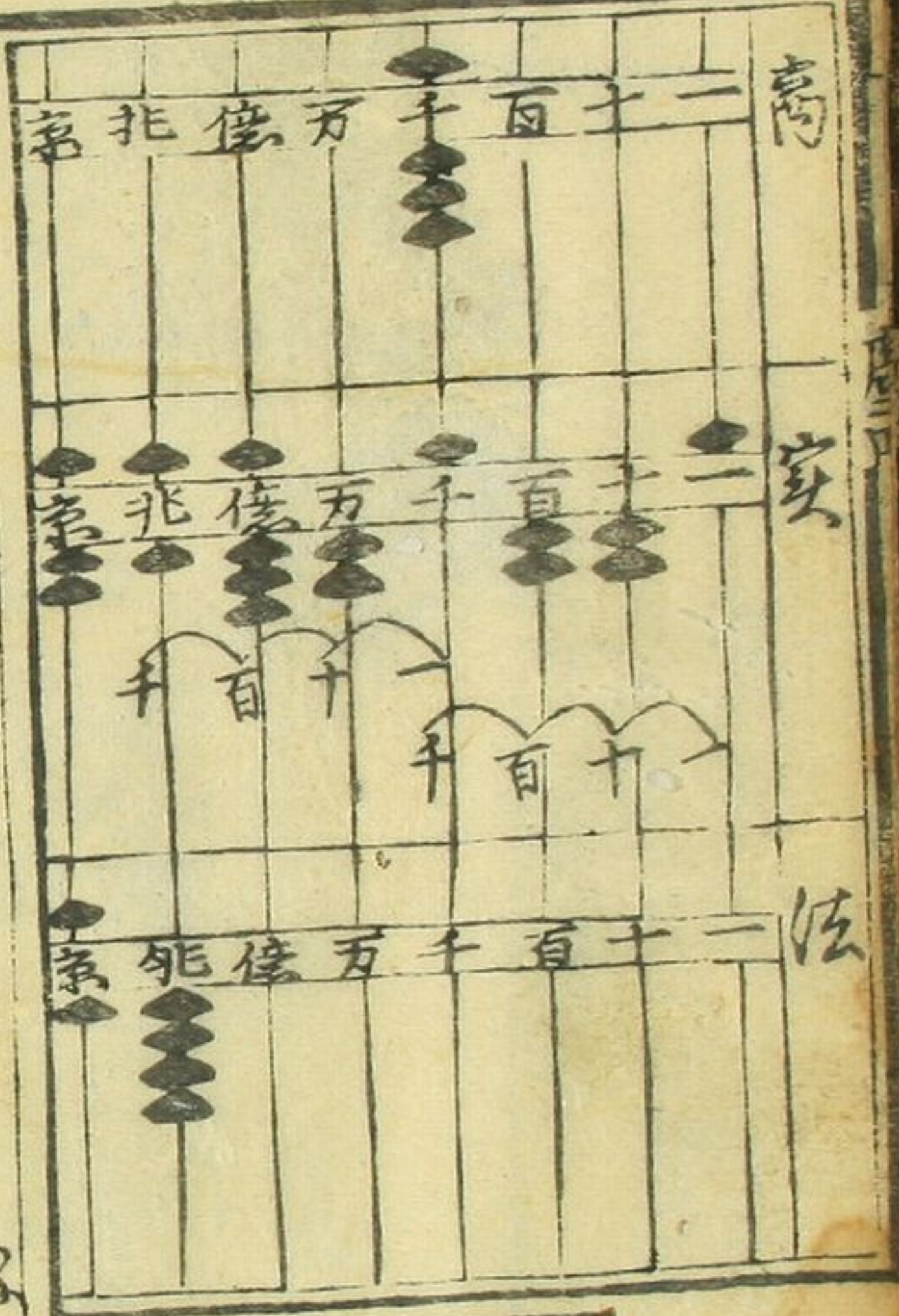
八七百万半
 九百万半

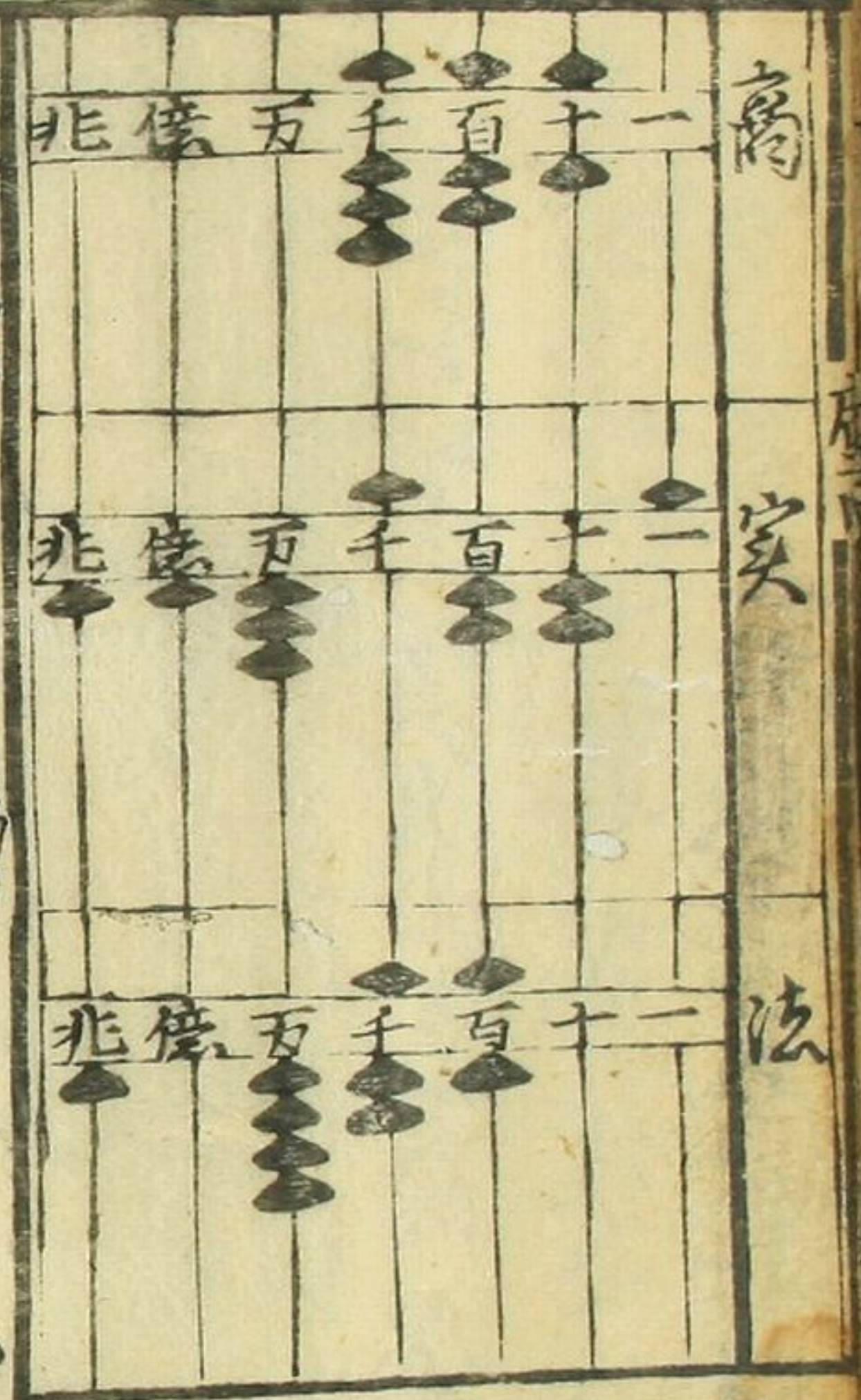
| | |
|---|---------|
| 十 | 九兆六億半 |
| 十 | 又億二万二千半 |
| 十 | 又万二千八百半 |
| 十 | 九兆六億半 |
| 十 | 五億二万二千半 |
| 十 | 五万二千八百半 |

下法の八子を倍之る者百と成二位にして玉高
 の次を七して下法の次を立高次を以て
 下法よぶ七七兆を二億七億九千万
 除く実余一兆億三千万又百七十五

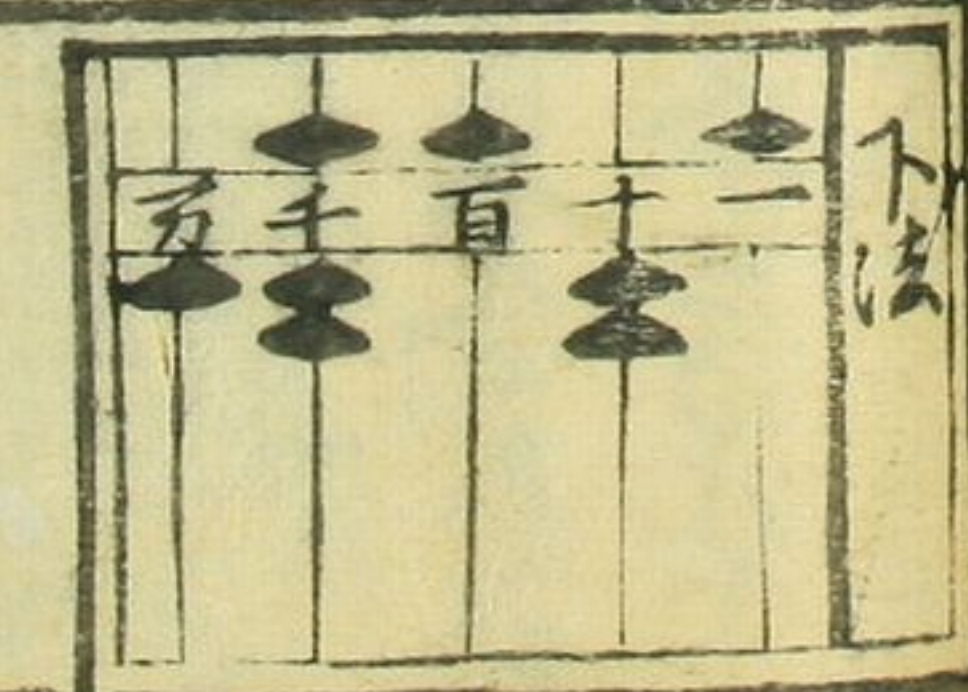
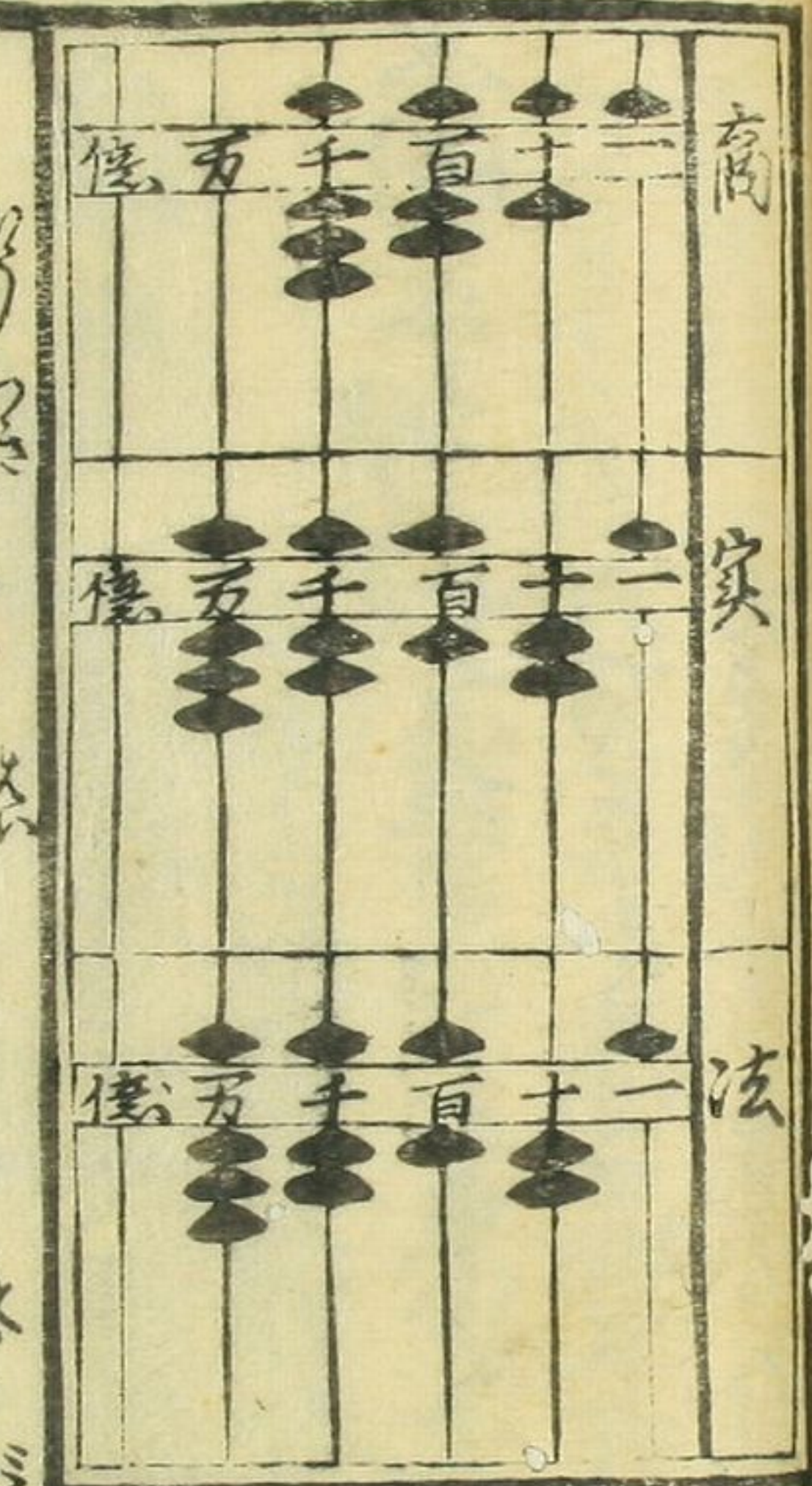


実小積と出二十百を千百を云ふ位初高
 八を七下法おと八を七出これ小高と法
 八八八八八八八八八八八八八八八八
 実小余り一系二兆億三千万又百七十五





下法の次の七の百を倍々又百と相倍倍思也
 極高の次は七の百を倍々又百と相倍倍思也
 ては少下法よりふふ六の倍を倍倍思也
 三万の次は七の百を倍々又百と相倍倍思也
 実の次は七の百を倍々又百と相倍倍思也



下法の次の七の百を倍々又百と相倍倍思也
 けて高次の七の百を倍々又百と相倍倍思也
 の七の百を倍々又百と相倍倍思也
 五七三万の次は七の百を倍々又百と相倍倍思也
 五七三万の次は七の百を倍々又百と相倍倍思也

△開年 積書 二種二核一京令六億九千万七百年

△開年 積書 七海六種五種七核五京八札令令
又七百万七千六

△開年 積書 七海六種五種七核五京八札令令
又七百万七千六

△開年 積書 七海六種五種七核五京八札令令
又七百万七千六

△開年 積書 七海六種五種七核五京八札令令
又七百万七千六

七海六種五種七核五京八札令令
又七百万七千六

開年四法

△二寸は安海ありん七百万七千六百九十九
七海六種五種七核五京八札令令



△七九といふ事は四七九百万七千六百九十九



又金二百万七千六百九十九
又七百万七千六百九十九

唐四

三三三守分とかけれ七十九解^不あ
ゆふせ九とつら也

△三三守分つらつらもつらつらつら



つらつらつらつらつらつらつら

〇三三守分つらつらつらつら

ちよ二三守分つらつらつら

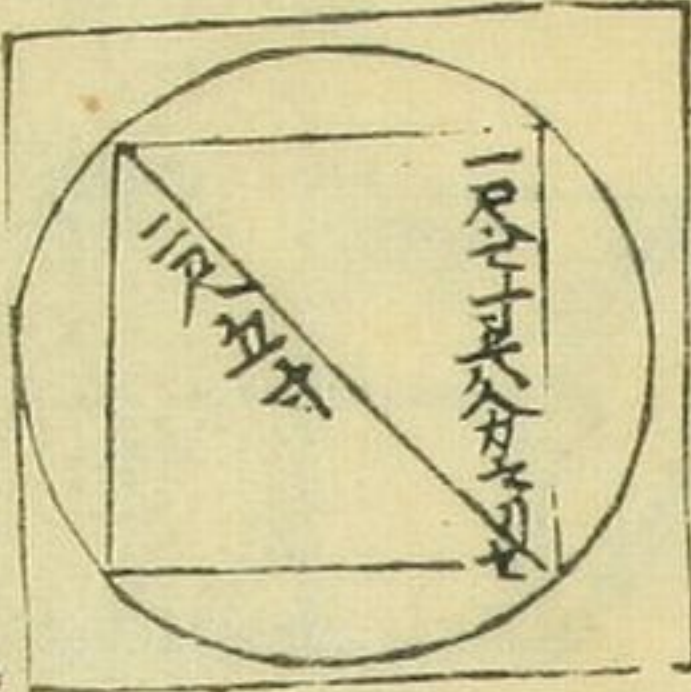
三三守分つらつらつらつら

三三守分つらつらつらつら



三三守分

△三三守分つらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら



〇三三守分つらつらつらつら
ちよ二三守分つらつらつらつら

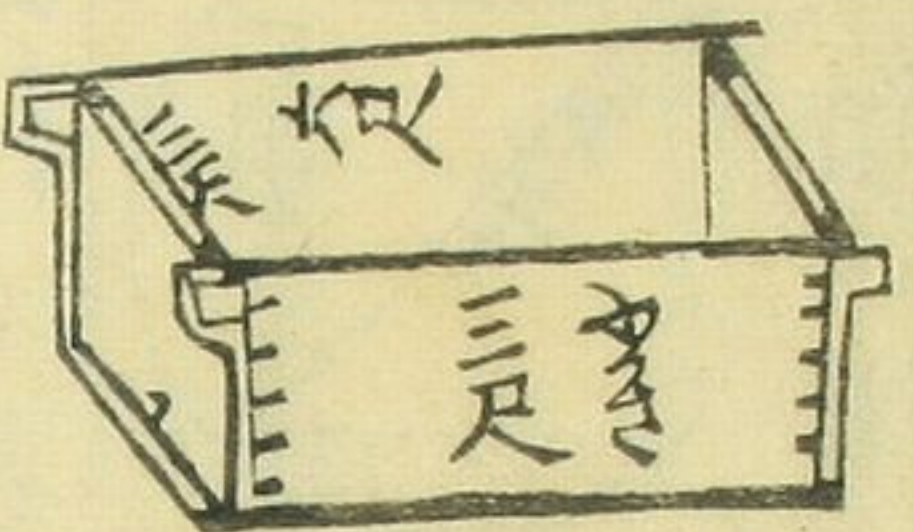
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら

△三三守分つらつらつらつらつら

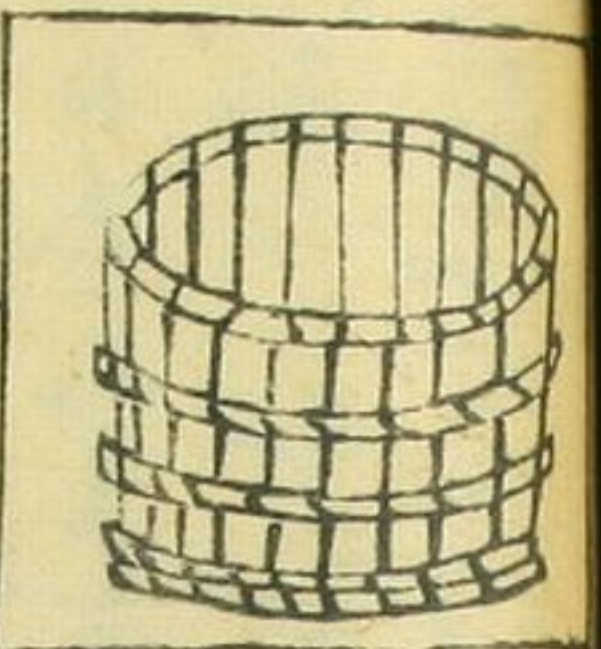
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら
つらつらつらつらつらつらつら

三三

三三



食
 三足
 此の器は、
 湯を煮るに
 用ひたる也
 其の形、
 三脚ありて
 蓋ありて
 湯を煮るに
 用ひたる也



此の器は、
 湯を煮るに
 用ひたる也
 其の形、
 圓形ありて
 蓋ありて
 湯を煮るに
 用ひたる也

一

△又たさるる心もあはれし心もあはれし
△八石を汁に練りて
まじりて煮たりてかきとせしは
みじきおぼしきものなり
とわれ八石を汁に練りて煮たりて
かかれ八石を汁に練りて煮たりて
△又たさるる心もあはれし心もあはれし
りし心もあはれし心もあはれし
まじりて煮たりてかきとせしは
みじきおぼしきものなり
とわれ八石を汁に練りて煮たりて
かかれ八石を汁に練りて煮たりて

これおぼしきものなり
まじりて煮たりてかきとせしは
みじきおぼしきものなり
とわれ八石を汁に練りて煮たりて
かかれ八石を汁に練りて煮たりて
△又たさるる心もあはれし心もあはれし
りし心もあはれし心もあはれし
まじりて煮たりてかきとせしは
みじきおぼしきものなり
とわれ八石を汁に練りて煮たりて
かかれ八石を汁に練りて煮たりて

算方

開立法

積九後六第一兆五億八千八百...

右之積と開之

子之何経

子之何経

九百千七百

九百千七百

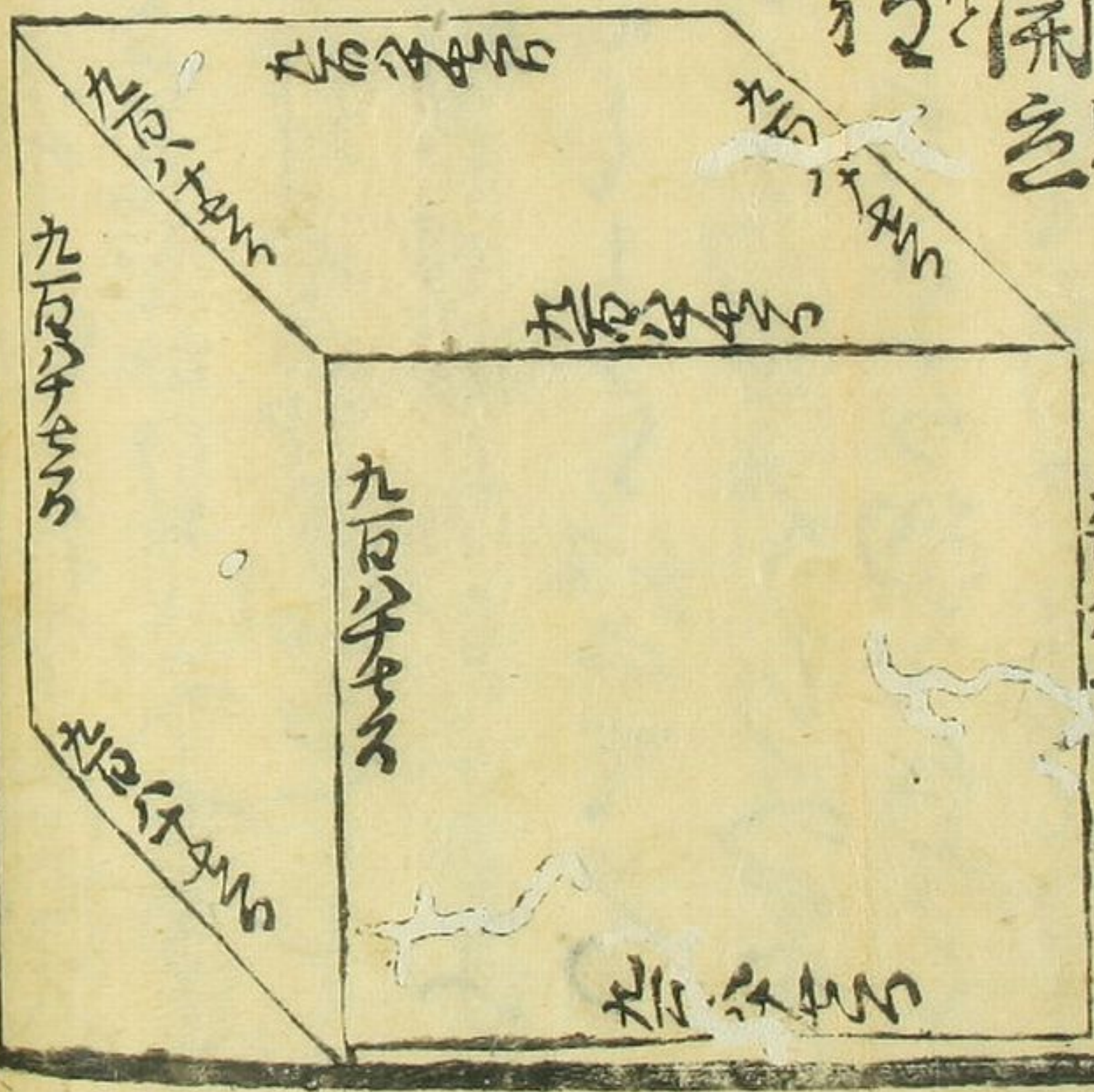


Table with columns for units: 高, 一, 十, 百, 千, 万, 億, 兆, 京. It contains numerical representations and annotations.

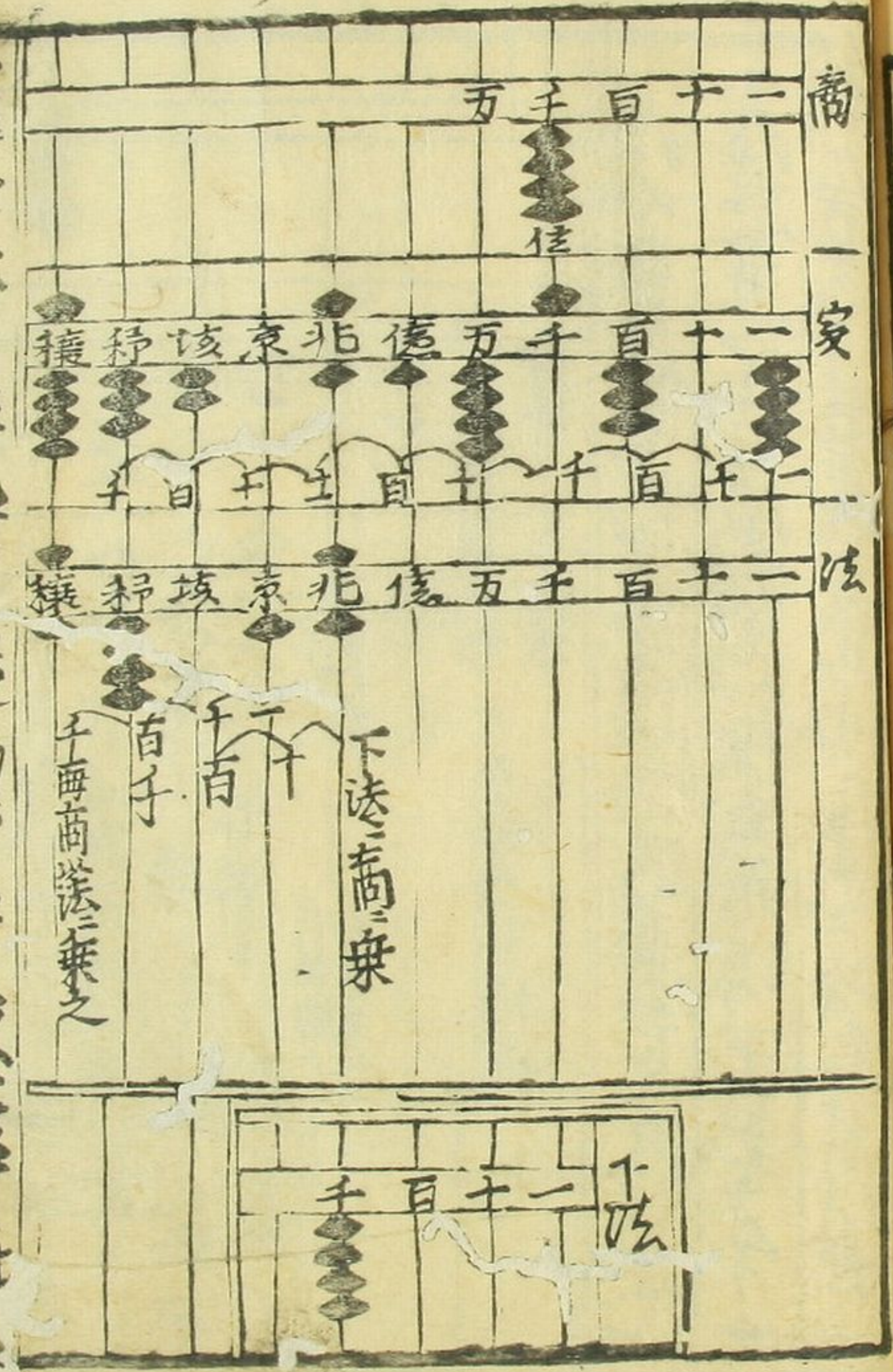
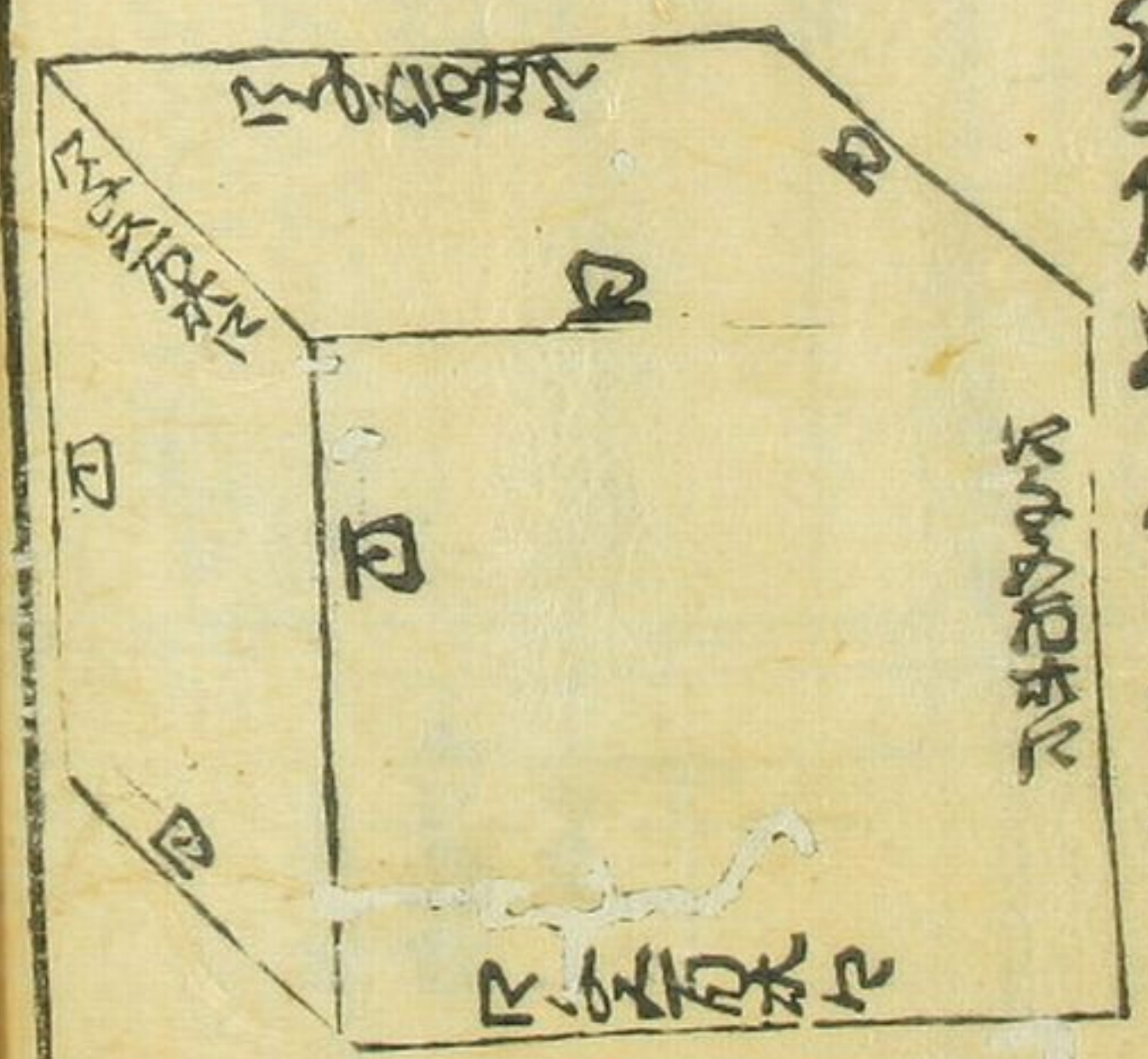
九億... 九兆... 九千... 九百... 九十九... 九九八十一...

七ノ九百八ノ百辛安ノ冷ノ安ノ米三ノ百十
 三ノ百八十ノ角ノ拂也

同用ノ換
 積ノ利ノ後ノ元ノ死ノ億ノ方ノ各ノ百ノ分ノ也

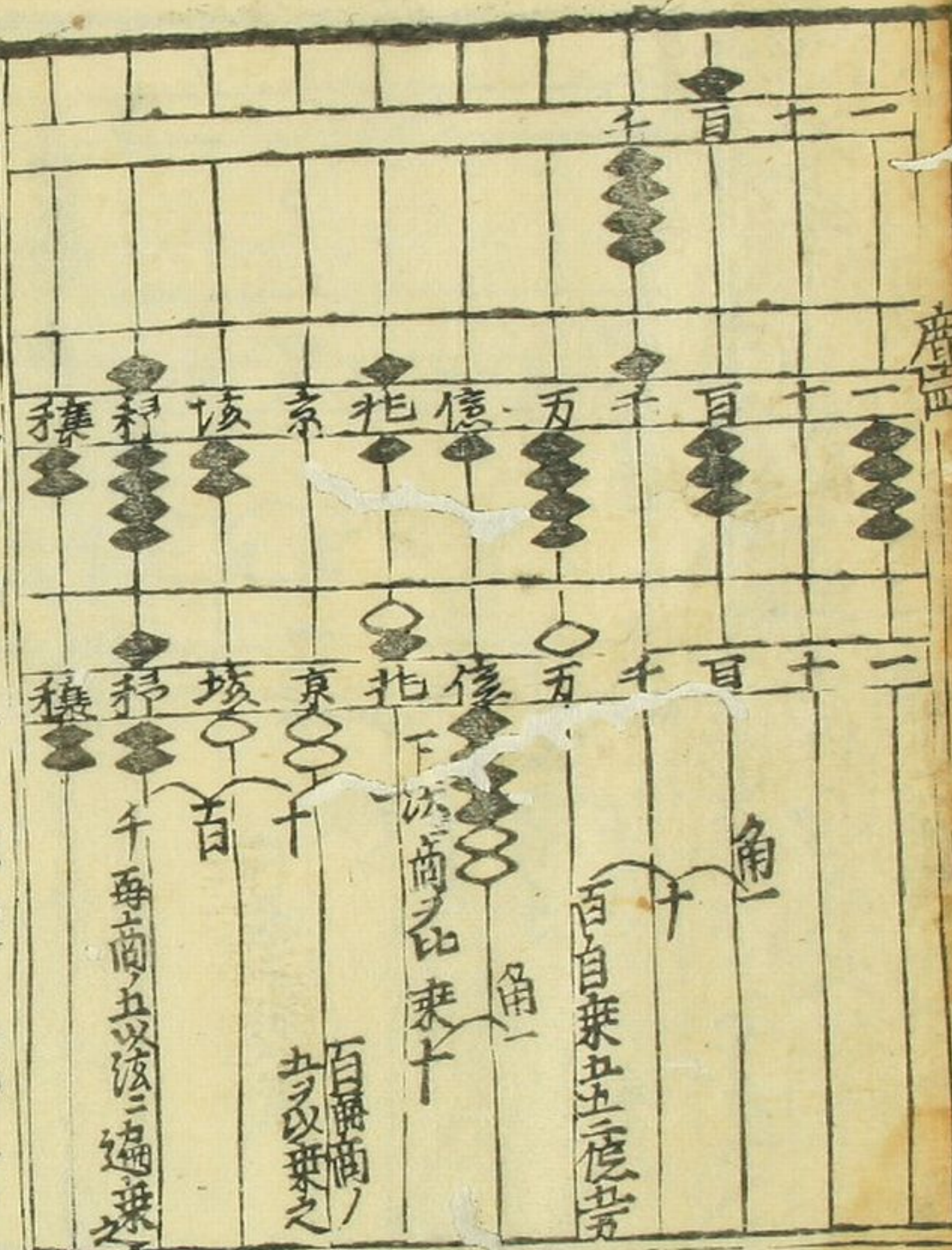
名曰

商ノ法

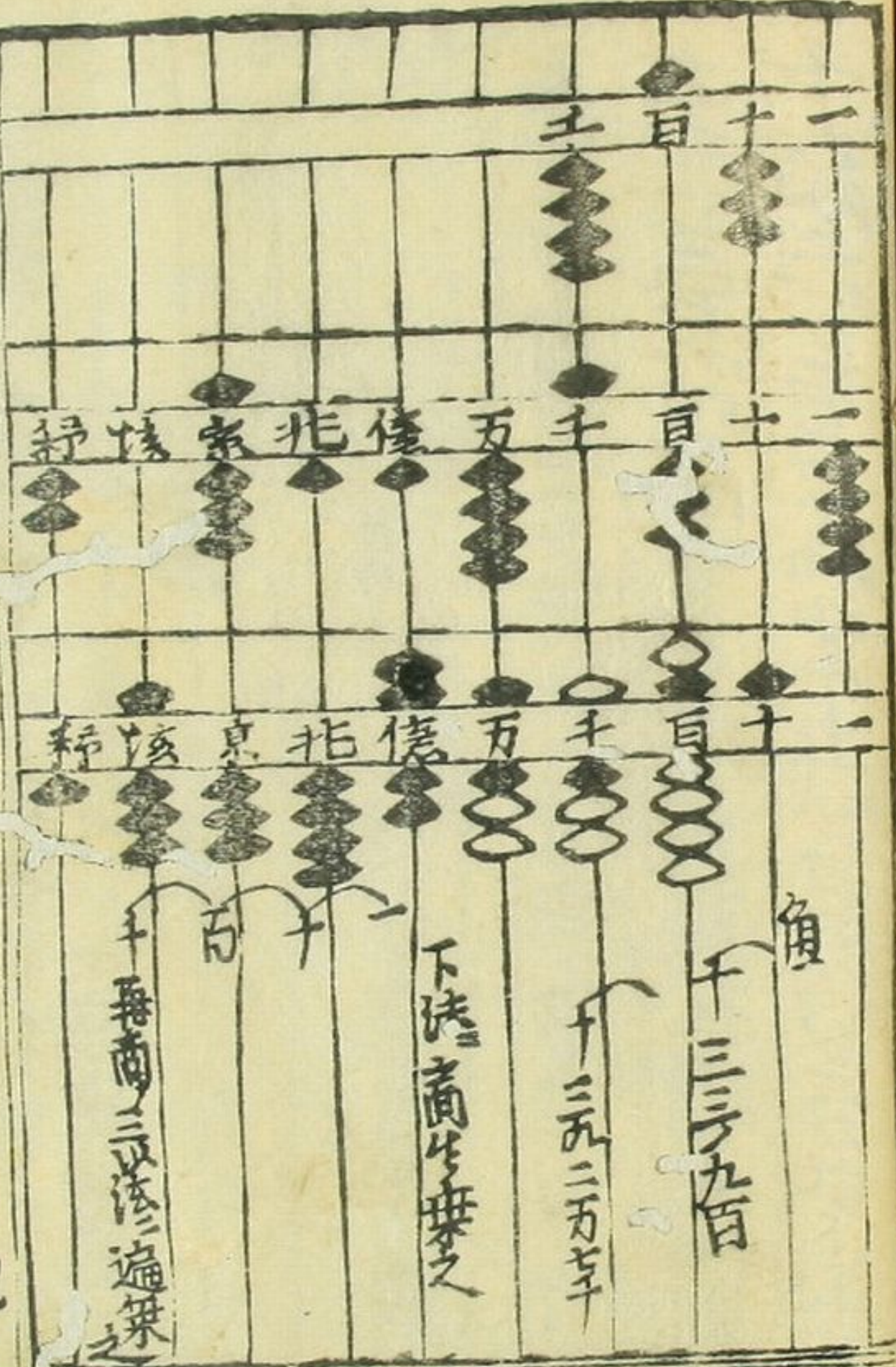


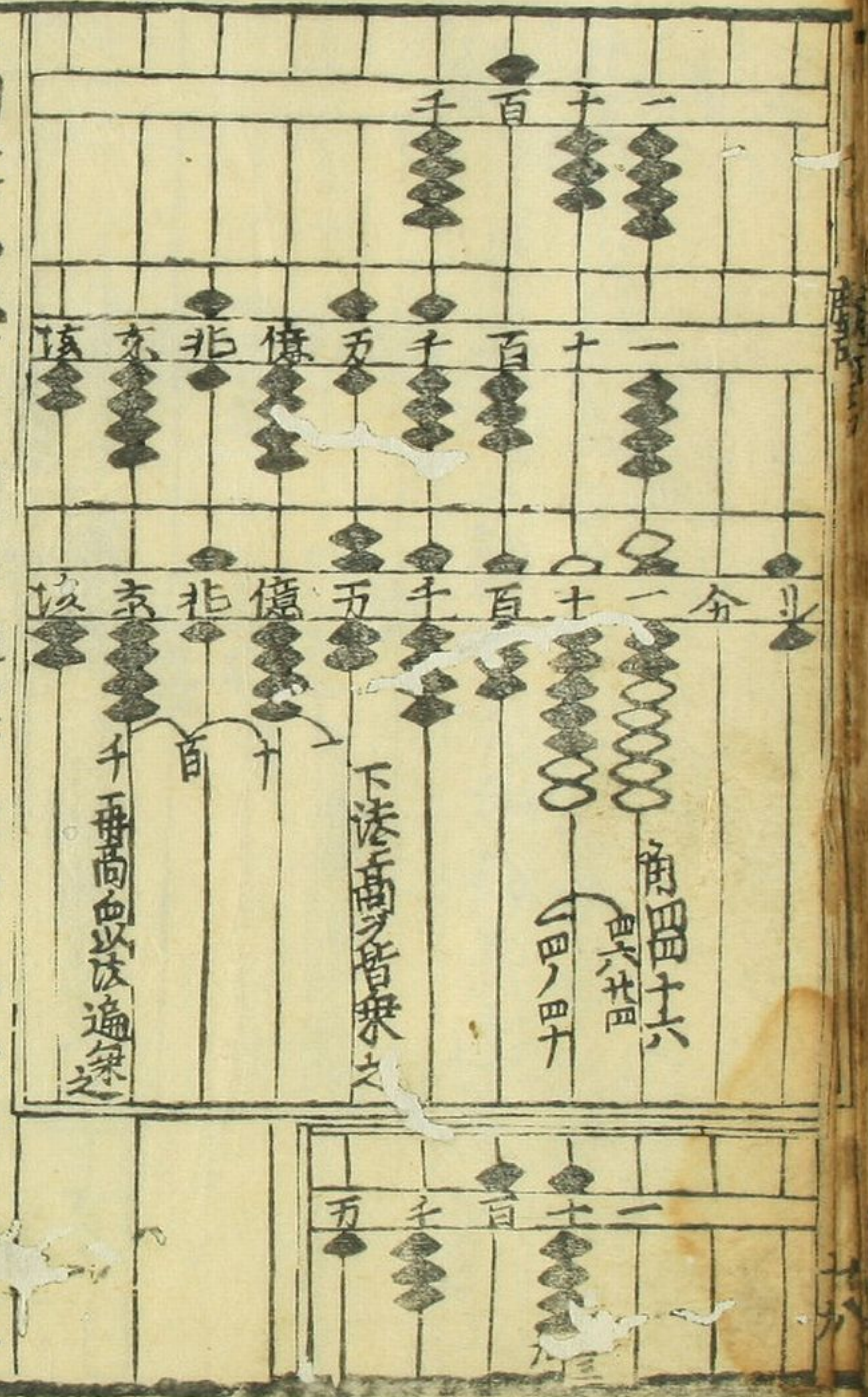
安ノ積ノ擘ノ位ノ見ノ時ノ千ノ位ノ也ノ商ノ心ノ下ノ法ノ下ノ法ノ每
 六ノ下ノ法ノ下ノ法ノ商ノ乘ノ京ノ兆ノ一ノ每ノ千ノ千
 六ノ下ノ商ノ法ノ乘ノ積ノ擘ノ利ノ安ノ下ノ法ノ

下法... 萬... 千... 百... 十... 一... 萬... 千... 百... 十... 一... 萬... 千... 百... 十... 一... 萬... 千... 百... 十... 一...



商... 五... 十... 百... 千... 萬... 十... 百... 千... 萬... 十... 百... 千... 萬... 十... 百... 千... 萬... 十... 百... 千... 萬... 十... 百... 千... 萬...





高承之法九十加位遍退也故法下法商乘之五
 九千三百六十九万五千八百三十九百九十九
 十八百九十九百九十九百九十九百九十九百九十九

千ト上リ商位ヲ以法遍算ルニ該位京位兆位兆位
 百億位百億位各千位二百半字テ除ク亥余
 字位これハ角位也
 △用立法定積之法

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| ○ | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| ○ | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| ○ | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 |
| ○ | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 |
| ○ | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |

一 一
 一 二 又 九 九 二 一
 一 三 又 二 二 八
 一 四 又 七 七 下 三
 一 五 下 九 九 七 四
 一 六 一 七 一 一 九

以

麻云

七 一九一二九下六

八 二

九 二下八下八一

十 二一又四三又

辛 二七二四一六

辛 三二下七二一又

辛 三三一九九二六

辛 三六六四下二又

辛 三九一四八六六

八十 四三下八九四三

九十 四四八一四一三

百 四六一又八又

二百 又八四八下三一

三百 六六九九三二九

四百 七三六八下三又

五百 七九三七下一三

六百 八四三三三二二

七百 八八七九下四

八百 九二二二七又

Stylized calligraphic character, possibly '九' (9).

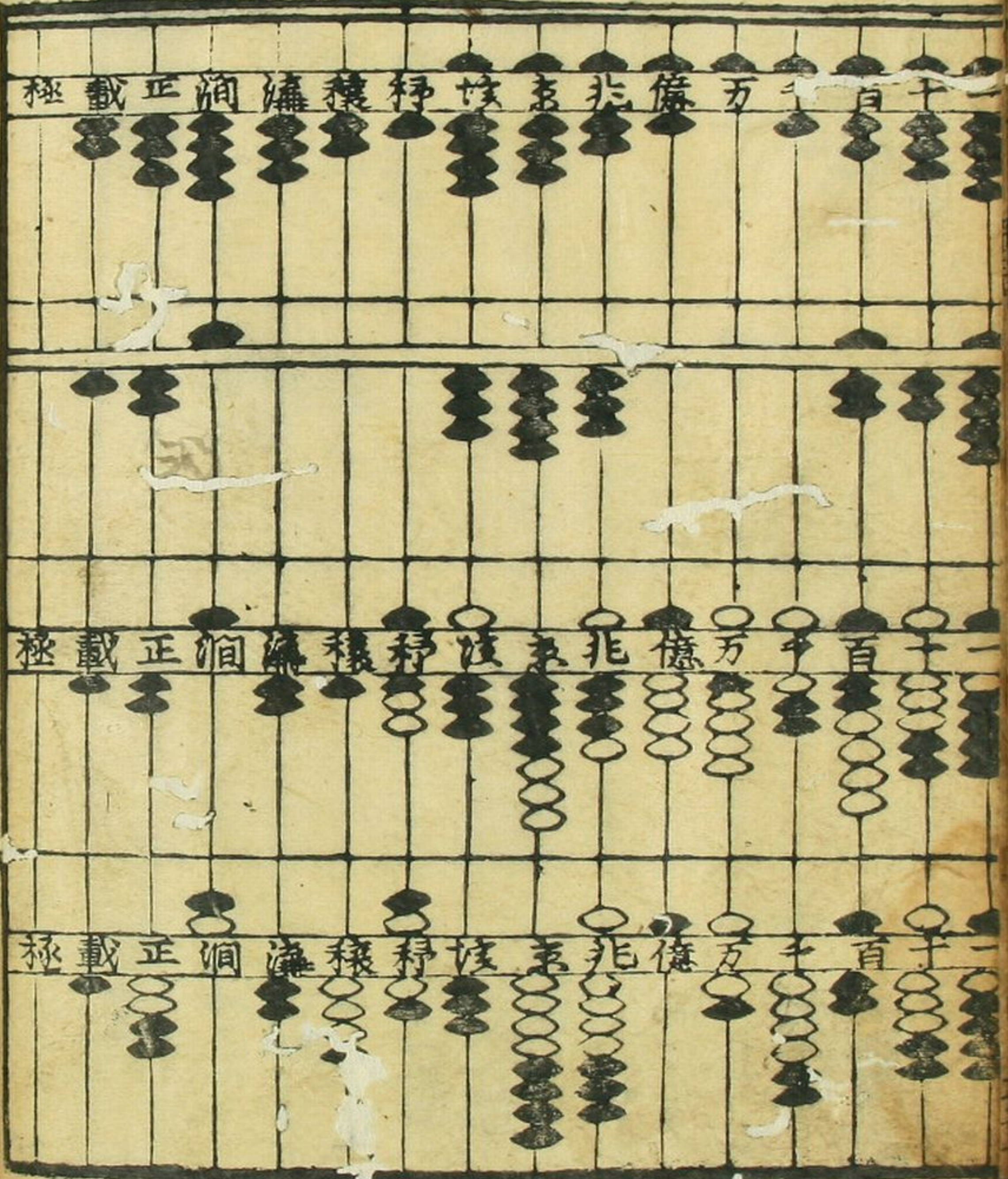
九九の表

九九の表

Stylized calligraphic character, possibly '九' (9).

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 万 | 万 | 万 | 万 | 万 | 万 |
| 九 | 六 | 八 | 九 | 六 | 八 |
| 九 | 六 | 八 | 九 | 六 | 八 |
| 九 | 六 | 八 | 九 | 六 | 八 |
| 九 | 六 | 八 | 九 | 六 | 八 |
| 九 | 六 | 八 | 九 | 六 | 八 |

九九の表
 九九の表
 九九の表
 九九の表
 九九の表



第六

孫子算術

△正月小月... 十二ひき... 十一月... 十月... 九月... 八月... 七月... 六月... 五月... 四月... 三月... 二月... 一月... 小月... 大月... 平年... 閏年... 中... 小...

年
磨
金
百
七
拾
六
億
八
百
八
拾
万
零
五
千



| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>九月</p> <p>此の九月本方七の音ナニ</p> <p>此の九月本方七の音ナニ</p> | <p>十月</p> <p>此の十月本方九の音ナニ</p> <p>此の十月本方九の音ナニ</p> | <p>十一月</p> <p>此の十一月本方七の音ナニ</p> <p>此の十一月本方七の音ナニ</p> | <p>十二月</p> <p>此の十二月本方七の音ナニ</p> <p>此の十二月本方七の音ナニ</p> |
|---|---|--|--|

臣

△大石二粒とひあてておろすの粒は
おろすと云州粒の方と同じ也に事な粒は

○おろす粒は七斗半に合ふ云々
△又二粒とひあてておろすの換

○九億二万二千百七十九粒と云
但此二百万粒入換りしてゆつたれと云

○おろす粒は合方七斗半に合ふ
△おろす粒とひあてておろすの換

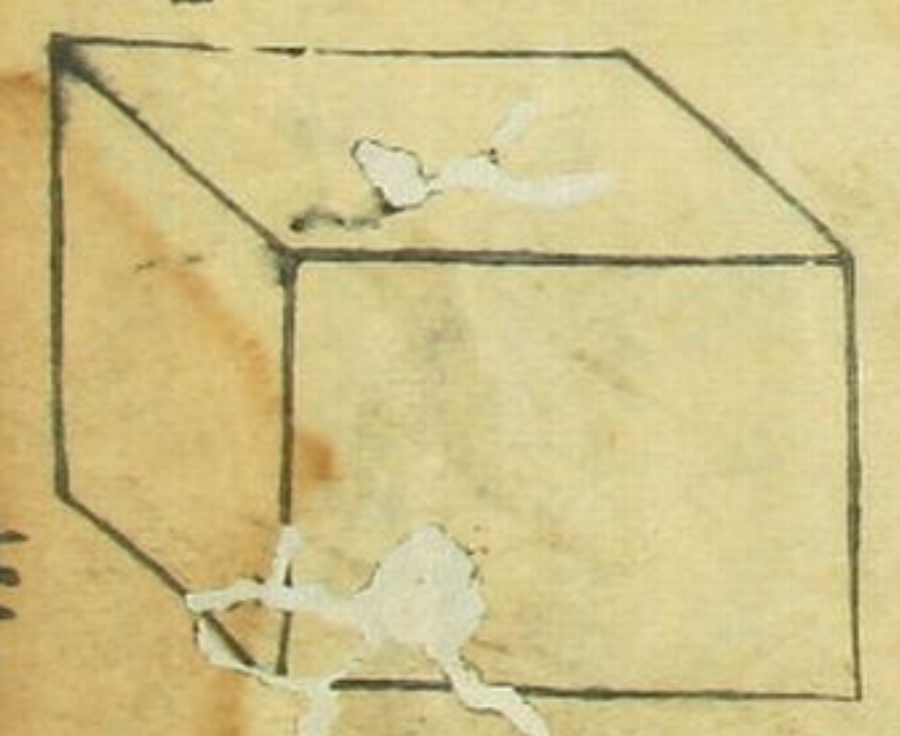
△おろす粒とひあてておろすの換
おろす粒とひあてておろすの換

△おろす粒とひあてておろすの換
おろす粒とひあてておろすの換

△おろす粒とひあてておろすの換
おろす粒とひあてておろすの換

△おろす粒とひあてておろすの換
おろす粒とひあてておろすの換

△おろす粒とひあてておろすの換
おろす粒とひあてておろすの換



石

石

△^ケの粒とひあてて家して百粒のりえ

い〜れらぬまふれ〜ちる〜

六〇〇百の粒と海文二〇九粒を種せよ

八百九粒を種せよ又百七粒を種せよ

百〇粒を種せよ又九〇粒を種せよ

今と億文の粒を種せよ又百八粒

た〜ぬ〜のり〜

是れ種ぬ事〜

何種あつ〜

百粒

一割

十割

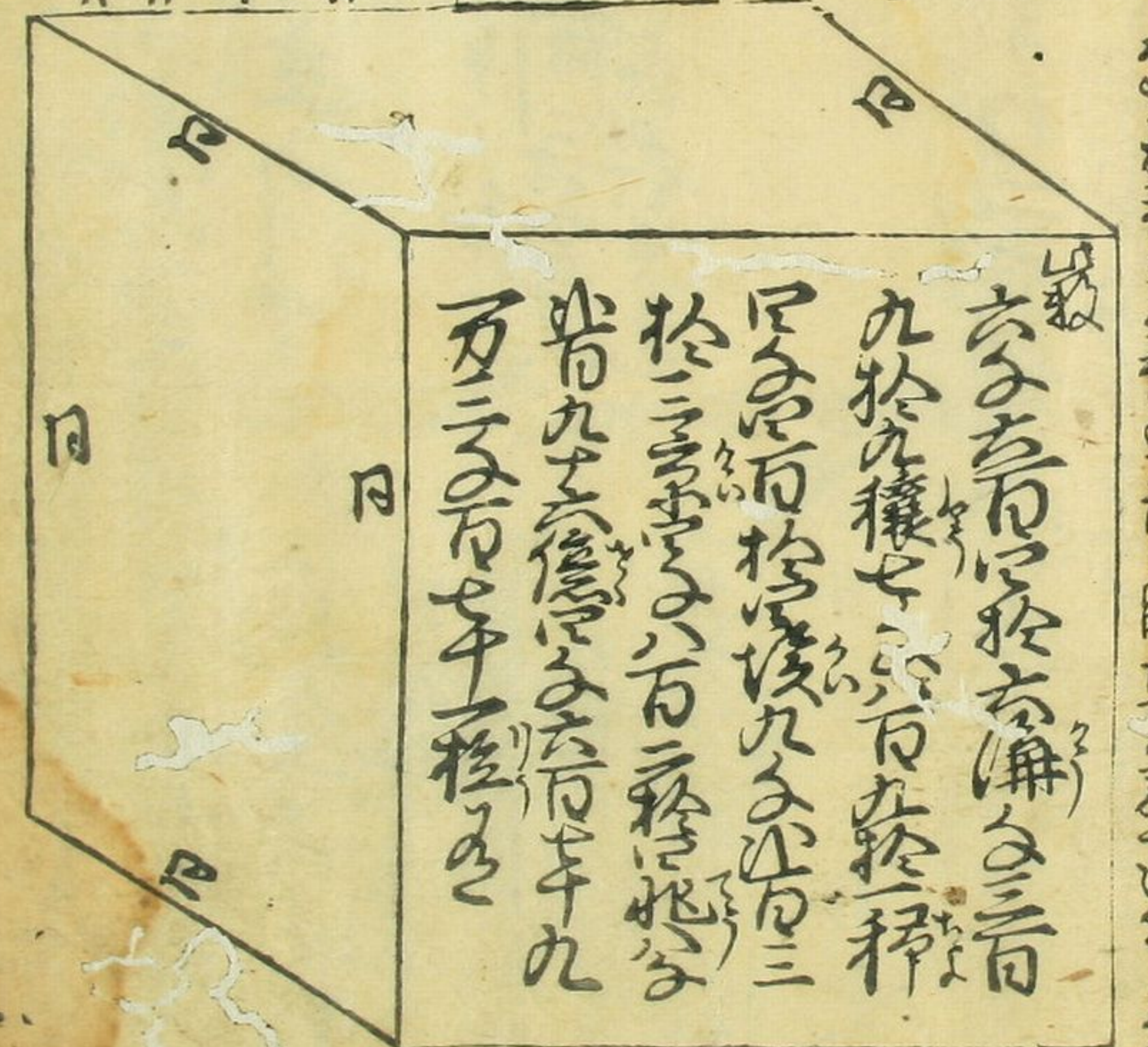
百粒

十割

百粒

十割

種目



種

六〇〇百の粒と海文二〇九粒

九粒を種せよ又百九粒を種

せよ又百七粒を種せよ

百〇粒を種せよ又九〇粒を種

せよ今と億文の粒を種せよ

又百八粒

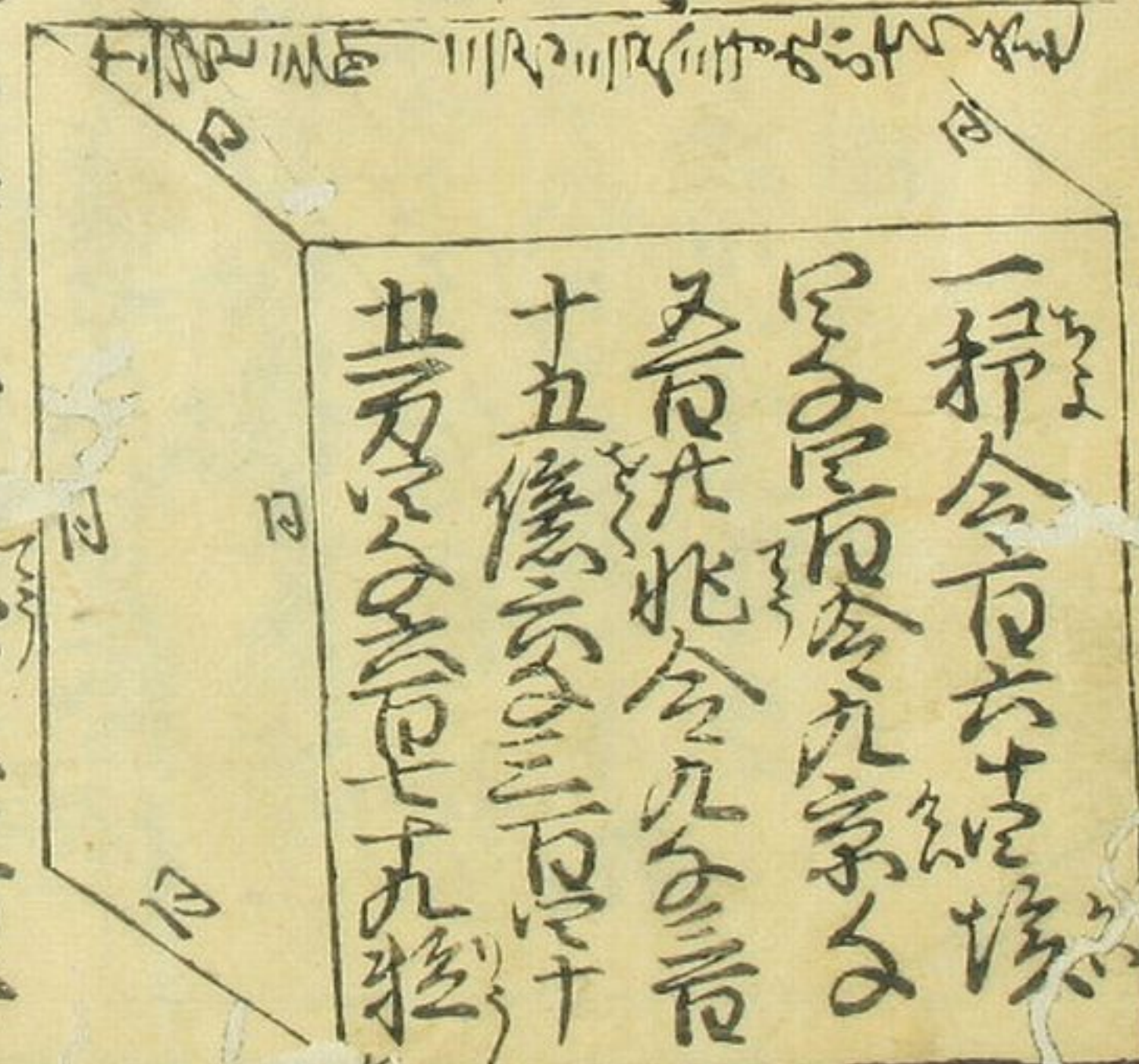
た〜ぬ〜のり〜

是れ種ぬ事〜

何種あつ〜

△右のあり一掃令百之粒定境定百粒を
 定まらば今億の二百万粒を移す
 一掃令百六十粒
 定まらば今九千
 五百粒を移す
 一掃令百七十粒
 定まらば今九千
 五百粒を移す

拾万二万二千二百
 二万九千九百



△右のあり一掃令百之粒定境定百粒を
 定まらば今億の二百万粒を移す
 一掃令百六十粒
 定まらば今九千
 五百粒を移す
 一掃令百七十粒
 定まらば今九千
 五百粒を移す

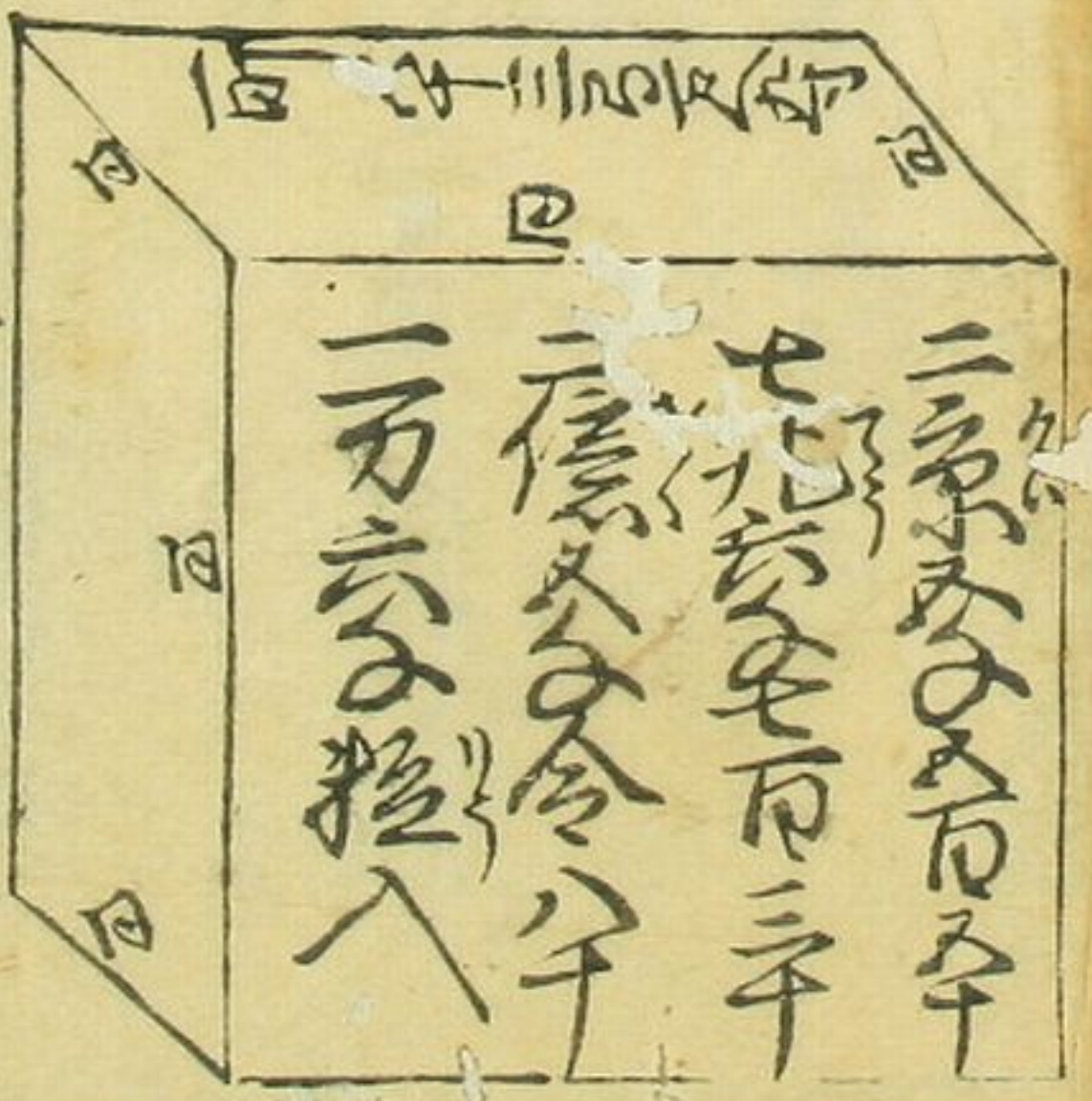
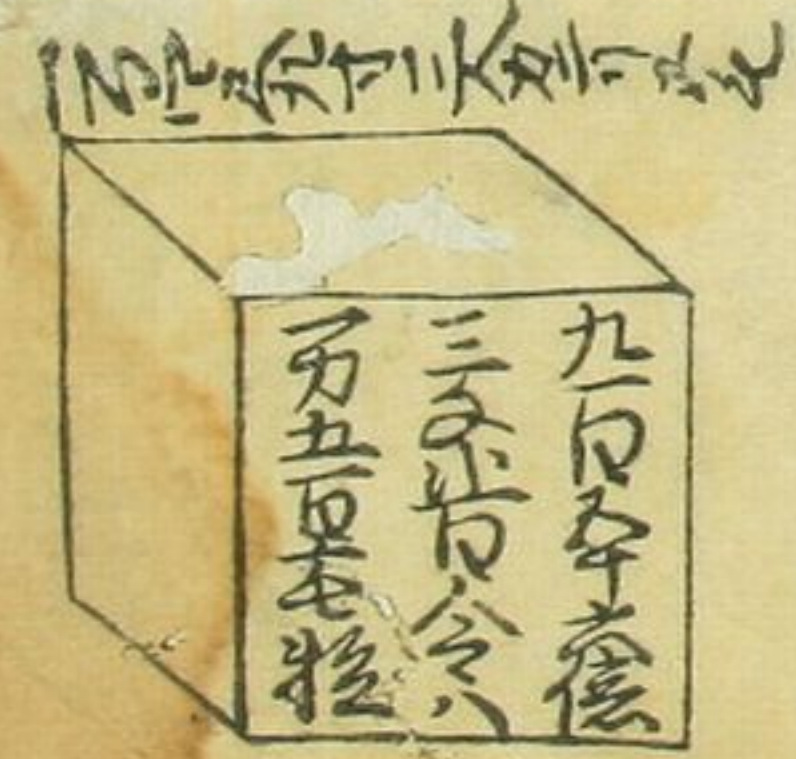
一掃令百六十粒
 定まらば今九千
 五百粒を移す

△右のあり

九百千六百億を九百粒を令公定百粒を移す

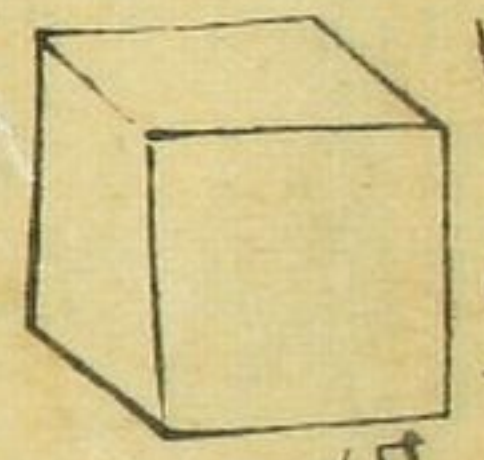
右のあり

九百千六百億を九百粒を令公定百粒を移す



△たろあまり わたり ひとさ下合 し 九万九千九百七粒

し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余



△たろ余 わたり 七万九千九百七粒

し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

△たろ余 わたり 一万九千九百七粒

し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

△たろ余 わたり 七千七粒

し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

△たろ粒と百たりのあひひひひ一億

守り し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

三億七千万九千九百七粒



日本國中男女の数を

田男の数を し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

田女の数を し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

合計 し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

右 し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

下 し 守り方 し 一万余 し 一万余 し 一万余

二百萬石分令令官守卒家山以年
又年申あふふ引くそと海 首其諸

△又たそ人救官方あひて存ら時
合給獲九多言主万家言主其名其年

九里九剛之松る万守官方之是也
但幸坪主一人のそら換所ては千八億九万
九の百石守の令と十二五てそりてそ
用多法とひてわり。い。也

一四里の水云剛とて 所さちあて
一四里の水云剛とて

△日本國中男女救官松徳九万の百石
十人あふれ人と守一町の換所て
たそ人あますふら新て物行そと海
松水石二万守九札一室二西家あ
但幸坪の守一に百石換入換所て
△又たそ人救官方あひて存ら時
あひて存ら何行つてくそと云時

五松又方そ又百守七萬三町守
但一里守六町 一町八守ち換
一町の守人守

又なまのいしとてんきん^カの^カおし^カの
三尋^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
て^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
写^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
の^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
これ^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
お^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
い^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
△九^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

あ^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
長^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
そ^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

今^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

也^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

也^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

法^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
は^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの
た^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの^カおし^カの

三十分
茶
湯

唐四

中又の事とあわ執心
ためをんを物
傳生也

寛文十三年^{甲戌}八月八日

吉田

大谷山酒天
吉田



寛永十一年八月版の本書（四巻本）
は、同年三月版の塵却記（三巻本）
とは別のもので、内容のみならず、
序及び跋を異にする。

昭和十二年三月

小倉金之助



京田条坊口通

敦賀屋久兵衛

大工町

京田条

伊豆屋

美濃馬治年

